

羽沢駅周辺地区プラン(協議会案)



平成 22 年 3 月

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

～ 目 次 ～

1. 羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）策定の経緯	1
2. 地区プラン（協議会案）の位置づけ	1
3. 羽沢駅周辺地区の状況	2
(1) 地区の現況.....	2
(2) 上位計画の概要.....	3
(3) 神奈川東部方面線の整備計画	5
4. まちづくりの基本目標	6
(1) 土地利用の方針.....	9
(2) 農地や緑地の方針	13
(3) 道路・交通の方針	17
5. 住民によるまちづくり活動	21
参考	23

1. 羽沢駅周辺地区プラン(協議会案)策定の経緯

神奈川東部方面線の整備に伴い、横浜羽沢駅付近に旅客駅の設置が計画されています。それにより、地域の長年の課題であった交通利便性が大幅に向上し、生活利便性の向上も予想されます。

しかし、便利になることにより、様々な開発、地域の安全性の低下、緑地の減少など、地域の生活環境が変わる可能性があります。

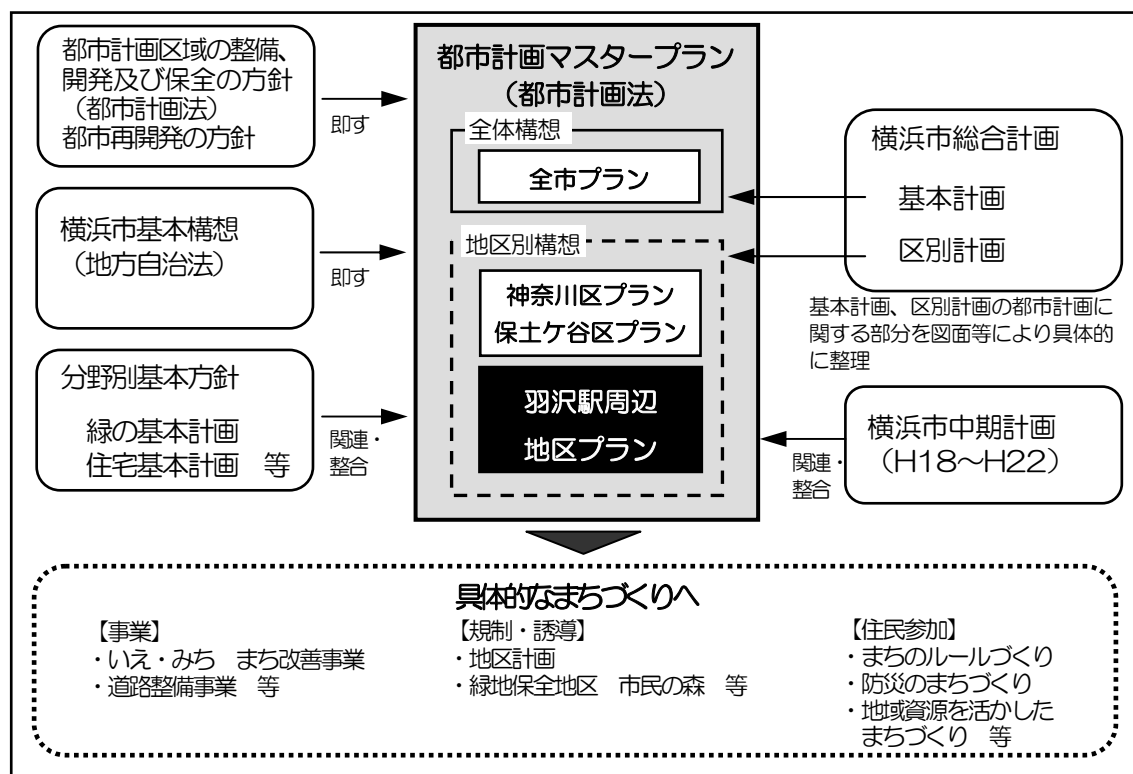
そこで、新駅からの距離が概ね1kmの範囲を対象に、地域住民等による「羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」において検討を重ね、まちの将来像や、各テーマごとのまちづくりの方針を「羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）（以下、地区プラン（協議会案）という。）」としてまとめました。

※表記の「羽沢駅」は仮称であり、決定したものではありません。

2. 地区プラン(協議会案)の位置づけ

「地区プラン（協議会案）」は、今後、行政によって策定される「横浜市都市計画マスタープラン－羽沢駅周辺地区プラン－」のたたき台となるものです。行政は、地域住民が中心となってまとめた「地区プラン（協議会案）」を基に、「羽沢駅周辺地区プラン」を策定します。

なお、「羽沢駅周辺地区プラン」は、全市プランを前提に、区プランと整合を図りながら、住民に身近な課題をテーマとして取り上げて、地区の将来像を明らかにするもので、その位置づけは以下のとおりです。



3. 羽沢駅周辺地区の状況

(1) 地区の現況

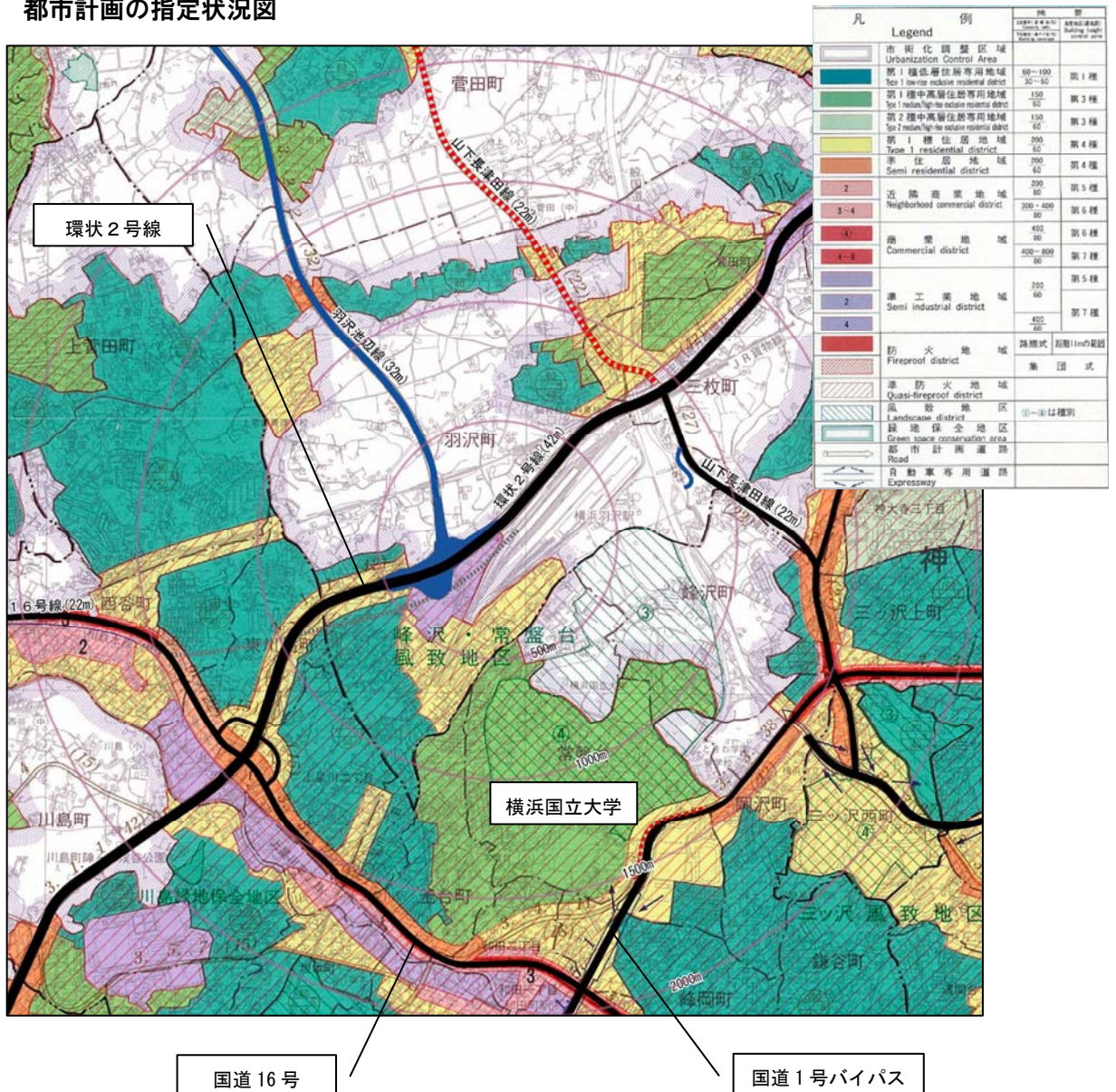
本地区の広範囲において市街化調整区域が指定されており、特にJR東海道貨物線横浜羽沢駅に近接した区域が市街化調整区域となっています。地区の中心を囲むように住居系や工業系の用途地域が指定されていますが、商業系の用途地域は国道1号バイパスや国道16号などの幹線道路沿道に指定されています。

なお、JR東海道貨物線の南側の区域には、横浜国立大学があり、それを含めて風致地区の指定がされています。

本地区に立地する建物は、2～3階建ての低層住宅が中心となっています。

また、地形的には貨物駅や環状2号線が最も低く、その周りを高低差20～30mの丘陵地が囲み、そこに住宅地が広がっている状況となっています。

都市計画の指定状況図



(2) 上位計画の概要

羽沢駅周辺地区に関する上位計画には次のようなものがあります。

■横浜市都市計画マスタープラン（全市プラン）

（横浜市 平成 12 年 1 月決定）

羽沢駅周辺地区においては、新横浜都心の一部として計画的に開発整備するとともに、生活基盤施設等の整備などによって、良好な住宅市街地の形成や住環境の保全に努めることとしています。

■横浜市都市計画マスタープラン（神奈川区プラン）

（横浜市神奈川区 平成 15 年 9 月策定）

丘陵部においては、農業専用地区を中心に都市農業の振興を図るとともに、既存の住宅地における居住環境や交通利便性の向上を推進することとしています。

また、羽沢貨物駅周辺では、神奈川東部方面線などの整備に合わせて、周辺の自然環境と調和した土地利用を推進することとしています。

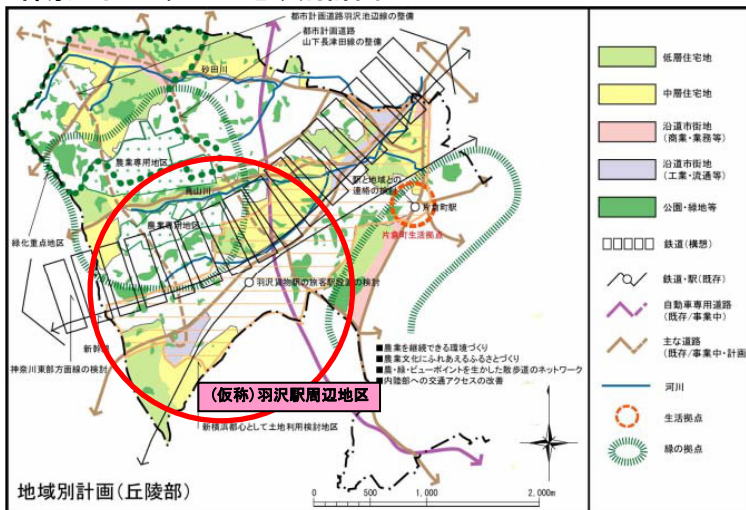
■横浜市都市計画マスタープラン（保土ケ谷区プラン）

（横浜市保土ケ谷区 平成 14 年 8 月策定）

丘陵部は良好な住宅地とし、低層住宅地あるいは中高層住宅を中心とする住環境を整備することとしています。

また、神奈川東部方面線の旅客駅設置によって、より選択性の高い鉄道交通体系を創出するとともに、新駅周辺の整備と合わせて、適切な都市機能の導入等について将来構想を検討することとしています。

神奈川区プラン 地域別計画



保土ケ谷区プラン 地区別まちづくり方針図



■横浜市水と緑の基本計画

(横浜市 平成 18 年 12 月策定)

羽沢駅周辺地区には、「河川沿いのまとまりのある農地・樹林地の拠点」・「市街地をのぞむ七つの丘」のエリアが含まれており、緑地や農地を保全・活用していくとしています。



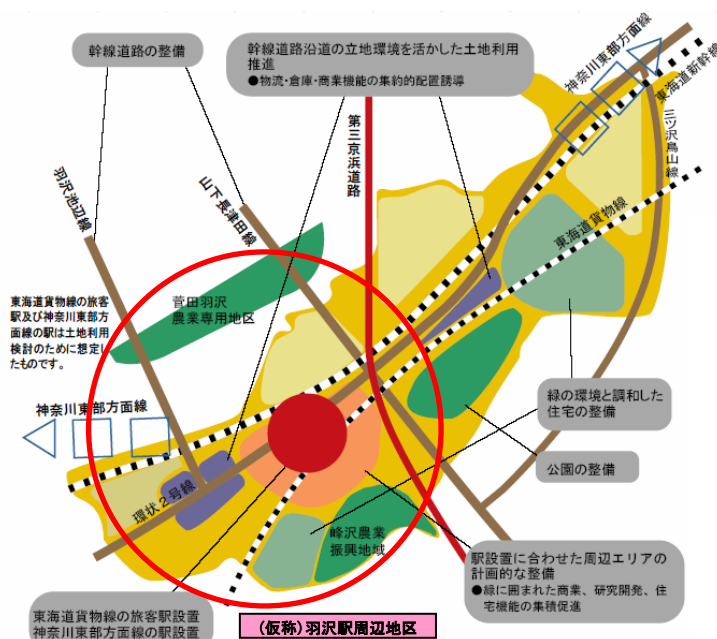
■新横浜都心整備基本構想

(横浜市 平成 11 年 6 月策定)

新横浜都心整備基本構想において、羽沢地区は「ふれあい・大地」をキャッチフレーズに、大地のめぐみを楽しむ地区としています。

その内容としては、樹林地や農地を大切に残しながら自然と共生した住みやすい環境をつくとともに、時代の流れを敏感にキャッチする都会性とゆったりとした郊外性が共存する街を目指すとしています。

また、駅設置を契機に、駅前広場や道路の整備など駅周辺の一体的な街づくりを進めるとしています。



(3) 神奈川東部方面線の整備計画

神奈川東部方面線は、横浜市西部地域と東京都心とを直結し、両地域間の速達性の向上、新幹線アクセスの向上、横浜駅やJR東海道線の混雑緩和、沿線地域の活性化などに寄与する目的で整備が行われるものです。

このうち、相鉄本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近までの区間は「相鉄・JR直通線」として整備され、平成27年に開通する予定です。

さらに羽沢駅から新横浜駅を経て東急東横線・目黒線日吉駅までの区間が「相鉄・東急直通線」として整備され、平成31年に開通する予定です。

これらの路線の整備及び新駅の設置に伴って、羽沢駅周辺地区は、鉄道による広域アクセスが大幅に向上することになります。

相鉄・JR直通線および相鉄・東急直通線の計画概要

相鉄・JR直通線

区間：西谷駅～羽沢駅
 整備延長：約2.7km
 整備予定期間：平成18年11月～27年3月

相鉄・東急直通線

区間：羽沢駅～日吉駅
 整備延長：約10.0km
 整備予定期間：平成19年4月～31年3月



計画路線図

4. まちづくりの基本目標

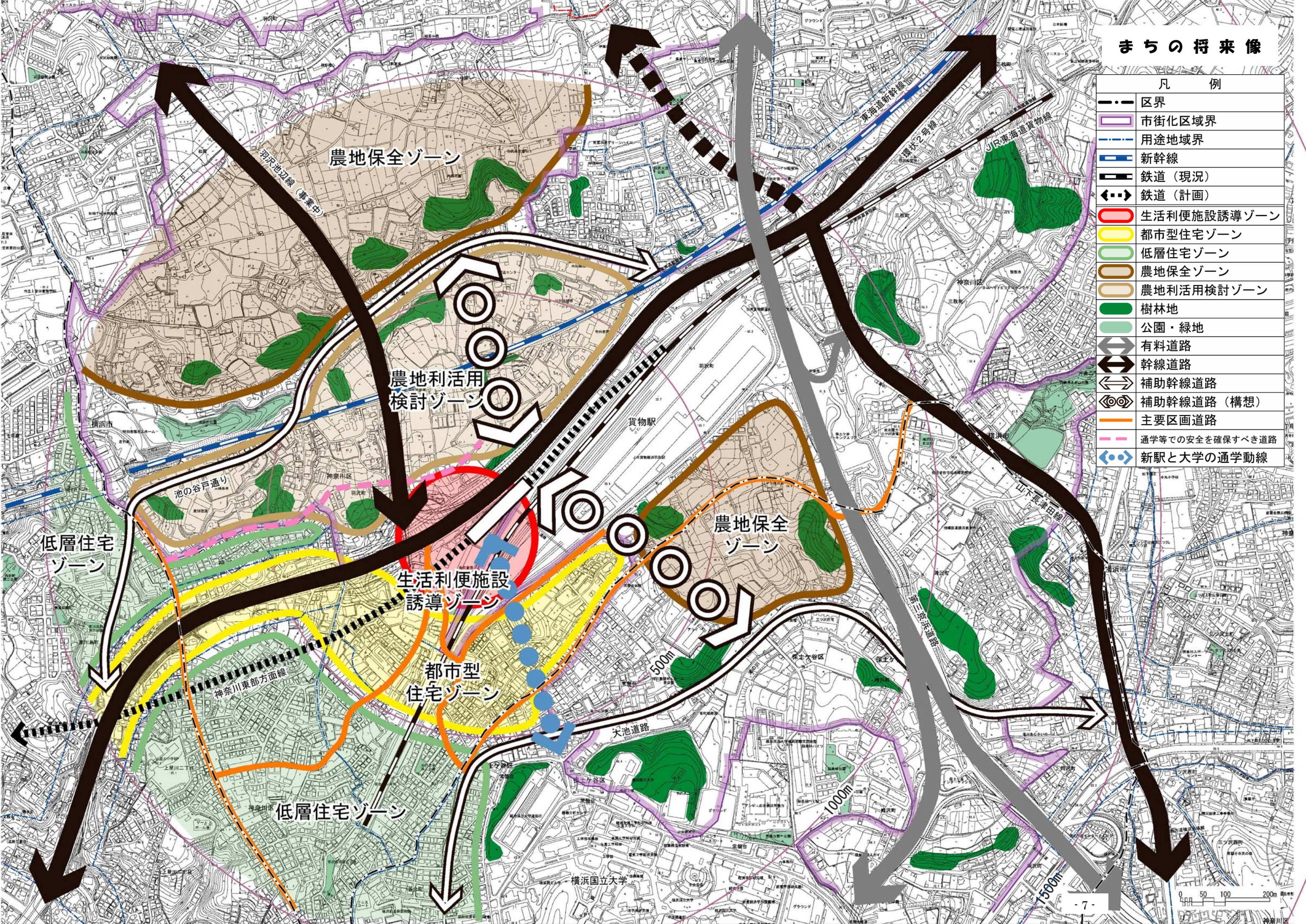
緑豊かな環境の保全と都市農業の成長とともに、神奈川東部方面線の開通に伴う地区の利便性の向上と、誰もが安全安心に暮らせるまちを目指し、羽沢駅周辺地区のまちづくり目標を以下のように設定しました。

**豊かな自然と身近に触れ合うことができ、
生活の利便性に優れ、安心して暮らせるまち**

- 目標1：利便性の高い都市と豊かな自然が
バランスよく共生するまち
- 目標2：営農を支援し、農地や緑地などを保全するまち
- 目標3：駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

まちの将来像

凡 例	
---	区界
■	市街化区域界
---	用途地域界
■	新幹線
■	鉄道（現況）
---	鉄道（計画）
■	生活利便施設誘導ゾーン
■	都市型住宅ゾーン
■	低層住宅ゾーン
■	農地保全ゾーン
■	農地利活用検討ゾーン
■	樹林地
■	公園・緑地
■	有料道路
■	幹線道路
■	補助幹線道路
■	補助幹線道路（構想）
■	主要区画道路
■	通学等での安全を確保すべき道路
■	新駅と大学の通学動線



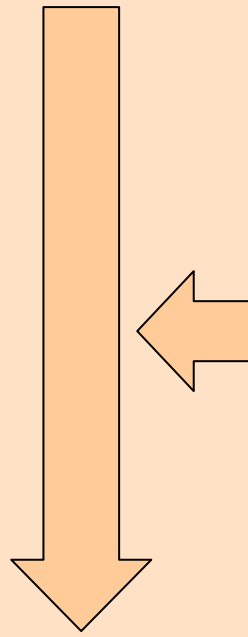
(1) 土地利用の方針

地区の状況や問題点

【現状の良い点や問題点等】

- ・低層の住宅が中心となっているため、騒音が少なく、静かで住みやすい。
- ・緑が豊かで、鳥も多くみられるなど、環境的に恵まれている。
- ・農業振興地域や農用地区域、農業専用地域が指定され、地区の北部や貨物駅の南側にはまとまりのある優良な農地がある。
- ・しかし、駐車場や資材置き場などに転用される農地も増えている。
- ・スーパーや食料品店、コンビニなどの商店が立地しておらず、遠方まで買い物に出なければならない。
- ・区の出張所や交番などの公共公益施設が遠く、不便である。

【新駅開業に伴い生じる問題点等】

- 
- ・駅前にふさわしい土地利用が、現時点ではされていない。
 - ・既成市街地においては、新駅の開業による地価の上昇と、それに伴う建替えなどによる中層建物の立地が予想される。
 - ・新駅の周りに利便性の高まる施設が立地しなければ、鉄道を利用しない地元住民にとってはメリットが少ない。
 - ・また、魅力的な施設の立地によって、鉄道利用者の増加も考えられる。
 - ・新駅に近接して農地が広がっているが、既に駐車場への農地転用など営農環境が悪化してきており、新駅開業により一層農地の改廃が進むことが懸念される。

まちづくりの課題

- ・現在の低層を中心としたエリアでは、静かな住環境を保全していく必要がある。
- ・生活利便性を高めるため、商業などの機能誘導を図ることが必要である。
- ・環境問題などを勘案し、鉄道などの公共交通機関の利用促進を図っていく必要がある。
- ・新駅の利用促進を図るため、駅前に魅力的な施設やランドマークとなる建物が立地できるように検討していく必要がある。
- ・まとまりのある生産性の高い農地や優良な農地は保全していく必要があるが、農地転用が進んでいるエリアについては、まちづくりの方向性を検討する必要がある。

土地利用に関する目標

利便性の高い都市と豊かな自然がバランスよく共生するまち

駅からの距離や、現在の土地利用の状況などから、各ゾーンごとに、目標を定めました。

生活利便施設誘導ゾーン

- ・ランドマークとなるような建物の立地や、まちの活性化・利便性向上に向けた商業施設の立地が進められ、人々が集まってくるようなきれいなまちになると良い。
- ・新駅へのアクセス性を高め、鉄道利用者だけでなく、新駅周辺の施設利用者にとっても、利用しやすい駅になると良い。

都市型住宅ゾーン

- ・現状は低層住宅が中心であるが、新駅から一定の範囲（500m以内など）では、まちの活力となる住民の増加を図るため、中高層の住宅を建てられるようにしても良い。
- ・中高層の建物が建てられ、その空閑地を道路に充てていくなどして、より良好な住環境の形成につながると良い。

低層住宅ゾーン

- ・新駅から一定距離以上（500m以上など）離れたエリアでは、既存のまち並みを維持していくため、中高層の建物立地を抑え、低層住宅を中心とした静穏で良好な住環境を保全していけると良い。
- ・狭あい道路などの改善などにより、より良好な住環境を形成できると良い。

農地保全ゾーン

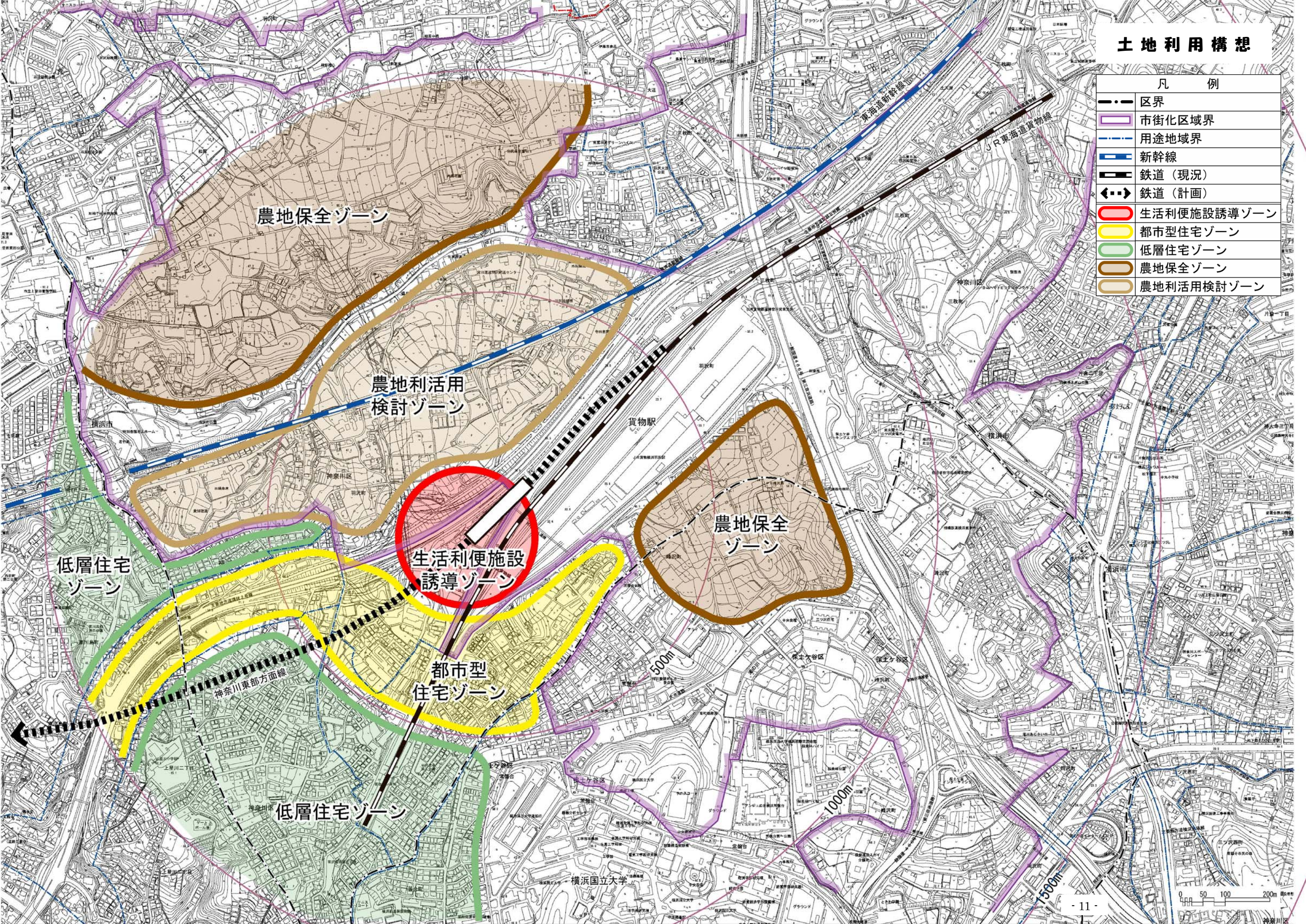
- ・農業専用地区や農用地区、風致地区に指定されており、まとまりのある優良な農地や豊かな緑地であることから、これらを保全していけると良い。

農地利活用検討ゾーン

- ・新駅に近いエリアなので、利便性の良さを活かした土地利用を考えられると良い。
- ・農地や緑地などは住民の憩いの場となっているので、今後も大切にしていけると良い。
- ・農家と住民が理解しあいながら、農業を継続して営めるような仕組みづくりを考えられると良い。

土地利用構想

凡 例	
---	区界
—	市街化区域界
---	用途地域界
—	新幹線
—	鉄道（現況）
←→	鉄道（計画）
○	生活利便施設誘導ゾーン
■	都市型住宅ゾーン
■	低層住宅ゾーン
■	農地保全ゾーン
■	農地利活用検討ゾーン



(2) 農地や緑地の方針

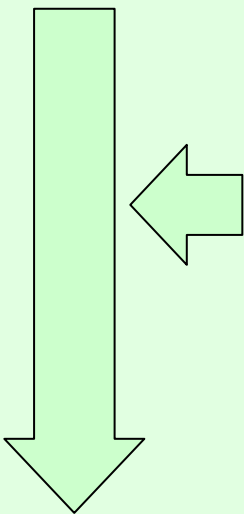
地区の状況や問題点

【現状の良い点や問題点等】

- ・ 農業振興地域に指定されているため農地が守られており、まとまりのある優良な農地がある。
- ・ 都心に近接する農地であり、市民農園としての利用など、都市住民のうらおい空間となっている。
- ・ 緑が多く牧歌的で、豊かな自然環境が残されている。
- ・ しかし、農業だけで生活していくのは困難な状況になってきており、後継者不足などの問題が生じている。
- ・ 駐車場への農地転用など、営農環境の悪化も大きな問題である。
- ・ また、個人で緑地を守り、維持していくことが難しくなっており、以前に比べると緑地は減ってきている。
- ・ 公園が少ない。また、既存の公園は、規模が小さいものや、斜面に造られているものなど利用しにくい。

【新駅開業に伴い生じる問題点等】

- ・ 地区の利便性が高まることにより、都市化が進み、農地や緑地の減少を加速させる恐れがあると同時に、農家との軋轢が生じることが懸念される。
- ・ 新駅近接の市街化調整区域では、農地が駅利用者のための駐車場などへ土地利用転換されることが懸念される。



まちづくりの課題

- ・ 継続して営農できる環境を確保するための方策や、農地を保全する方策を検討する必要がある。
- ・ 緑豊かな地区環境の保全や緑地管理の方策、地区内の緑化についての方策を検討していく必要がある。
- ・ 様々な人が集い、様々な利用の仕方ができるように、公園の造り方を検討していく必要がある。

農地や緑地に関する目標

営農を支援し、農地や緑地などを保全するまち

農地

【農地の保全】

- ・税金や近隣対策など負担が大きくなっているため、農地を個人で維持するのは難しくなっており、地元住民や行政などが一緒になって農地を守っていけると良い。
- ・農地を維持、保全するために、地元特産品のPRや新たな販売ルートの開拓を支援するなど、副収入に頼らず農業だけでも生活できるような対策が行えると良い。

【担い手の確保】

- ・新たな農業の担い手を集めていくとともに、営農意欲の高い人に農地が集まる仕組みや、農地の集約化による生産性の向上が図れると良い。

【宅地と農地の共生】

- ・農地と宅地との境界部に遊歩道や公園のようなものを配置し、緩衝帯を設けていけると良い。
- ・住民の憩いや安らぎの空間としても、農地を保全していけると良い。

緑地

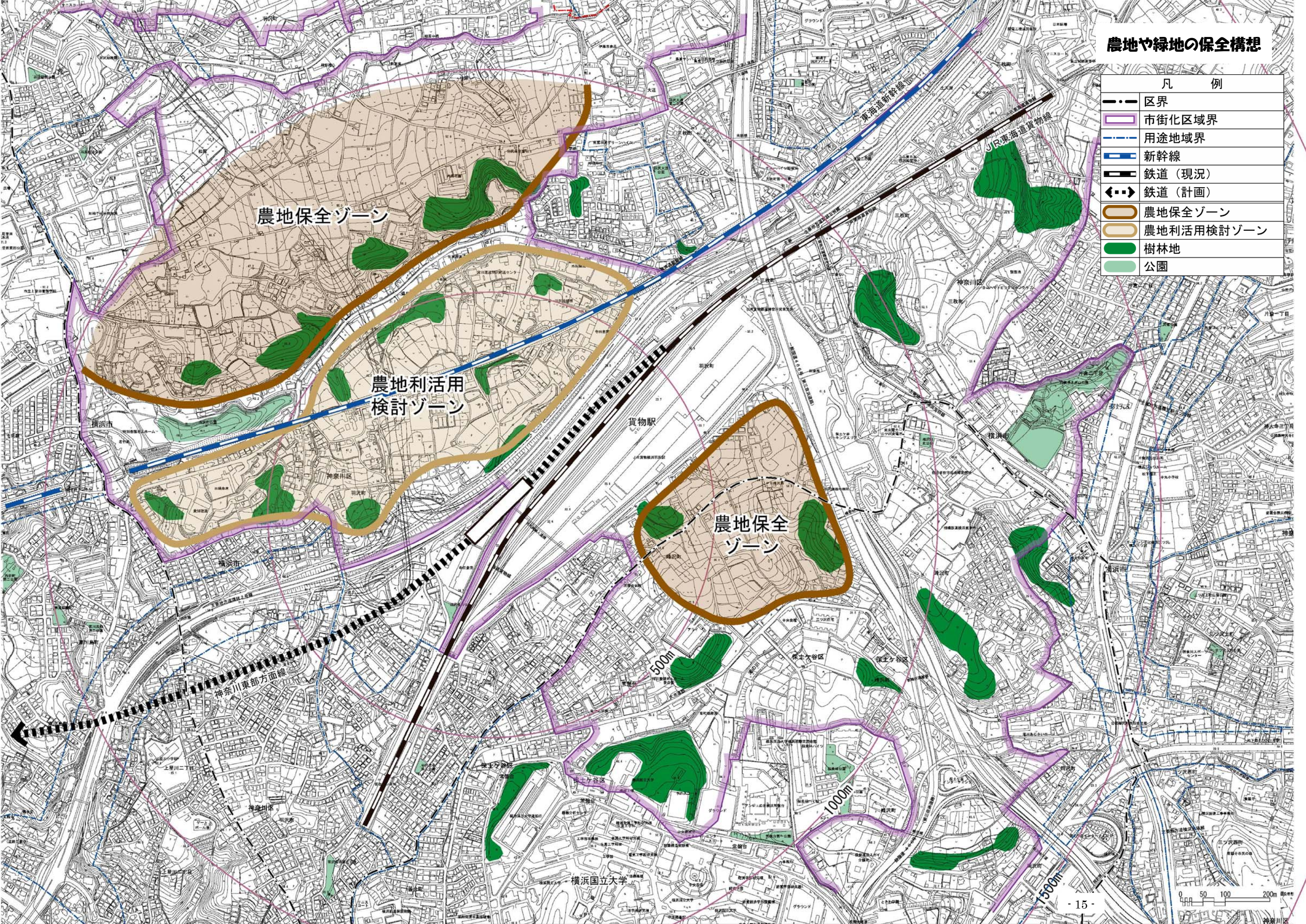
- ・緑が豊かなど、良好な自然環境を保全していけると良い。
- ・税金や近隣対策など負担が大きくなっているため、緑地を個人で維持するのは難しくなっており、地元住民や行政などが一緒になって緑地を守っていけると良い。

公園

- ・羽沢長谷公園の拡張や、北部の農地を保全するエリアに大きな公園の配置を検討できると良い。
- ・適正な規模を有し、多様な遊び方ができるような公園を確保していけると良い。

農地や緑地の保全構想

凡 例	
---	区界
▭	市街化区域界
---	用途地域界
▬	新幹線
▬	鉄道（現況）
◄◄	鉄道（計画）
▭	農地保全ゾーン
▭	農地利活用検討ゾーン
■	樹林地
■	公園



農地保全ゾーン

農地利活用
検討ゾーン

農地保全
ゾーン

神奈川東部方面線

貨物駅

横浜駅

横浜国立大学

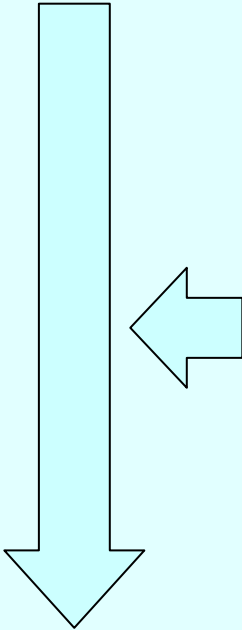


(3) 道路・交通の方針

地区の状況や問題点

【現状の良い点や問題点等】

- ・ 第三京浜道路や環状2号線、国道1号、国道16号が近くを通っており、また羽沢池辺線が工事中など、幹線道路は充足している。
- ・ 大池道路や池の谷戸通りにはバスが通っているが、歩道がないため危険である。
- ・ 貨物駅や環状2号線があるため、地区の南北方向の往来ができない。
- ・ 生活道路が全般的に狭く、また入り組んでおり、歩行者が安心して歩けていないとともに、車のすれ違いや緊急車両の進入が困難である。



【新駅開業に伴い生じる問題点等】

- ・ バスで新駅へアクセスする道路がない。
- ・ 自家用車は、生活道路を利用することで新駅へアクセスできるが、道路が狭いため生活道路を利用する歩行者が危険にさらされる懸念が生じる。
- ・ 新駅と市街地の間は、地形的な高低差が大きいため、新駅への徒歩利用は限定的となる可能性がある。
- ・ 新駅からの流動が増えるなど、横浜国立大学へのアクセスが大きく変わることが予想される。
- ・ 通学ルートの沿道では、空き缶放置や大声でのおしゃべりなど、住環境を害する懸念が生じる。

まちづくりの課題

- ・ バス通りを安全に歩行できるようにするとともに、バス通りまでのアクセス道路の充実を検討する必要がある。
- ・ 地区の分断を解消するため、南北を結ぶ道路を検討する必要がある。
- ・ 各方面から新駅へスムーズにアクセスできるよう、ルートを確保する必要がある。
- ・ 安全安心なまちを形成していくため、幅員6m以上の道路を適正な間隔で配置していく必要がある。
- ・ 幅員の狭い道路は、適正な幅員へと拡幅していく必要がある。
- ・ 沿道住民の住環境を保全していくため、通学時のマナーやルールづくりを検討していく必要がある。

道路・交通に関する目標

駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

幹線道路

- ・環状2号線が地区を東西に横断し、地区の周囲を第三京浜道路、国道1号や国道16号が通っているほか、地区北側からのアクセスルートとして羽沢池辺線の整備が行われるなど、幹線道路ネットワークは充実している。

補助幹線道路

- ・大池道路や池の谷戸通りなどの補助幹線道路については、バス通りでもあることから、歩道の設置を進めていき、住民や学生が安全に通行できる道路にしていけると良い。
- ・バスでの新駅アクセスを確保するため、大池道路や池の谷戸通りからのルートを確認し、利用しやすい駅にしていくとともに、環状2号線や貨物駅などによる地区の分断を解消できると良い。

主要区画道路

- ・地区内の交通を集散するとともに、緊急車両（消防車や救急車など）が円滑に通行できる安心安全なまちを築くために幅員6m以上の道路を適正に配置できると良い。
- ・補助幹線道路を補完する、既存道路を活用した新駅へのアクセスを確保していけると良い。

区画道路

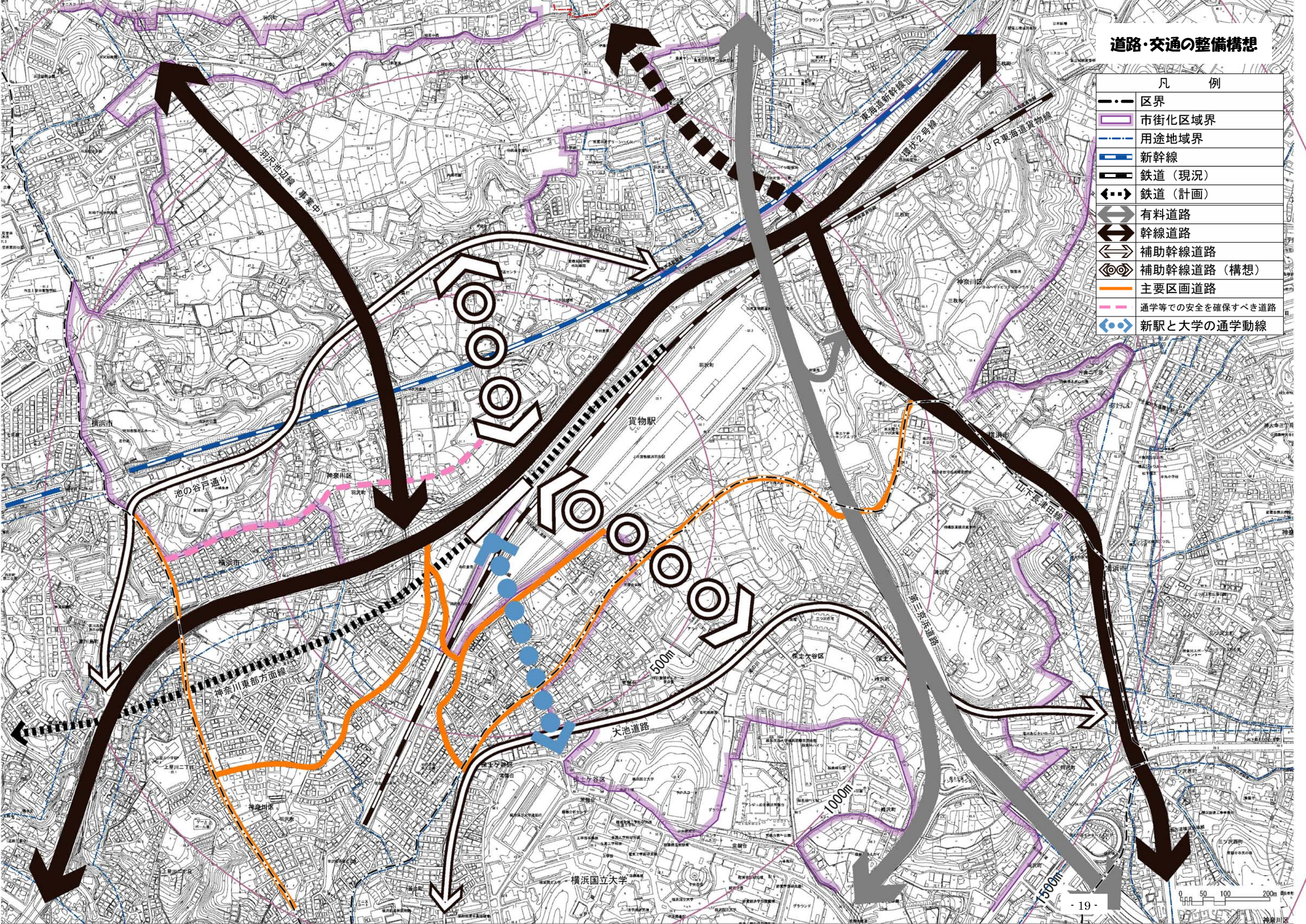
- ・日常生活に身近な区画道路については、幅員4mを最低限確保していけると良い。
- ・合わせて、一方通行や通学路などのソフト施策も活用していくとともに、新駅と地区内を結ぶ歩行者動線などを検討し、歩行者のさらなる安全性を確保していけると良い。
- ・新駅と横浜国立大学をつなぐ歩行者動線を想定し、沿道住民や学生などとルールづくりを検討していけると良い。

サイン計画

- ・留学生などの外国人向けや、来街者向けの案内サインを設置できると良い。

道路・交通の整備構想

凡 例	
	区界
	市街化区域界
	用途地域界
	新幹線
	鉄道（現況）
	鉄道（計画）
	有料道路
	幹線道路
	補助幹線道路
	補助幹線道路（構想）
	主要区画道路
	通学等での安全を確保すべき道路
	新駅と大学の通学動線



5. 住民によるまちづくり活動

これからのまちづくりにおいて、より良いまちへとしていくためには、住民のみなさんの積極的な参加が欠かせません。

自らのまちに愛着を持ち、地元のみなさんとの交流を深め、まちの在り方について意見を交わしていくことで、より多くの方の意見が反映された「羽沢駅周辺地区」が創られていきます。

ここでは、地元の住民のみなさんでやるべきこと、やっていきたいこととしてまとめた活動を通じて、多くの住民のみなさんの「まちづくり活動」への積極的な参加を促すものです。

住民活動の継続・拡充

- ・自治会や各種団体による、地元の住民活動を継続していきたい。
- ・とくに、新駅近隣の住民は、新駅開業による影響を大きく受けるので、自治会などが積極的に対応していきたい。

住民の交流促進

- ・新駅の開業祭を地元の自治会などで実施していきたい。
- ・現在行っている「清掃活動」や「防災訓練」「防犯活動」をイベント化し、多くの住民の参加を促し、交流を進めていきたい。
- ・自治会間の連携、区を越えた連携を進めていき、まち歩きなどの交流イベントも実施していきたい。

活動の場の確保

- ・囲碁や将棋等が楽しめ、高齢者も利用できて交流が図れる場を確保していきたい。
- ・農作物への影響や夜間照明の影響などに配慮は必要だが、多目的広場などを確保していきたい。

地元住民による活動事例



住民による防犯パトロール(神奈川区)



ハマロードサポーターによる清掃活動(神奈川区)



商店街でのイベントの実施(保土ヶ谷区)



地域の人たちで運営するクラブ(神奈川区)

～参考～

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会の構成

本まちづくり協議会は、駅の設置により影響を大きく受けると想定される「駅からの徒歩圏」である概ね1kmを対象とし、(仮称)羽沢駅から1km圏に含まれる連合町内会等により構成しています。

区	所属		人数
神奈川区	住民代表	羽沢地区自治連合会	1名
		宮向自治会	1名
		羽沢自治町内会	2名
		羽沢星ヶ丘自治会	2名
		羽沢南町内会	2名
		羽沢第一町内会	2名
		三枚地区自治連合会	2名
	農業従事者		3名
保土ヶ谷区	住民代表	川島東部連合町内会	1名
		上新地区連合自治会	1名
		上星川地区連合町内会	1名
		中央東部地区連合町内会	1名
		和田地区連合町内会	1名
		常盤台地区連合町内会	1名
	農業従事者		2名
	横浜国立大学		1名
計			24名

※事務局 神奈川区区政推進課 保土ヶ谷区区政推進課

まちづくり協議会の開催

本まちづくり協議会は、以下のような日時、テーマで開催し、合わせて 10 回の協議会を経て、地区プラン(協議会案)を作成しました。

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会の開催スケジュール

	日時	テーマ
第 1 回	平成 20 年 10 月 30 日(木) 19 時～21 時	・ 協議会の設立などについて ・ まちの良いところ、悪いところを見つけよう
第 2 回	平成 20 年 12 月 3 日(水) 19 時～21 時	・ まちの良いところ、悪いところを見つけよう
第 3 回	平成 21 年 2 月 1 日(日) 13 時～16 時	・ 羽沢駅予定地周辺のまち歩き ・ まち歩きで気づいたこと、感じたこと
第 4 回	平成 21 年 3 月 12 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分	・ 将来のまちの目標や姿を考えよう(全体地区)
第 5 回	平成 21 年 5 月 20 日(水) 18 時 30 分～20 時 30 分	・ 将来のまちの目標や姿を考えよう(全体地区)
第 6 回	平成 21 年 7 月 22 日(水) 18 時 30 分～20 時 30 分	・ 将来のまちの目標や姿を考えよう (既存住宅地のまちづくり、自然と都市のバランス)
第 7 回	平成 21 年 9 月 16 日(水) 18 時 30 分～20 時 30 分	・ 将来のまちの目標や姿を考えよう (既存住宅地のまちづくり、自然と都市のバランス)
第 8 回	平成 21 年 11 月 20 日(金) 18 時 30 分～20 時 30 分	・ 将来のまちの目標や姿を考えよう(まちの目標) ・ まちづくりのアイデアを考えよう
第 9 回	平成 22 年 1 月 19 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分	・ 地区プラン(協議会案)の作成
第 10 回	平成 22 年 3 月 10 日(水) 18 時 30 分～20 時 00 分	・ 地区プラン(協議会案)の作成

まちづくり協議会ニュースの発行

本協議会では、協議会の開催ごとに、検討内容をまとめた協議会ニュースを発行し、駅周辺の自治会で回覧しました。

また、区役所窓口での配布、区役所ホームページへの掲載を行い、周知を図りました。



まちづくり協議会ニュース



「羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を設立しました！

相鉄線西谷駅とJR貨物線をつなぐ『相鉄・JR直通線』が整備されることとなり、**羽沢貨物駅付近に旅客駅が設置**（平成27年4月予定）されます。この新線整備により、地域の長年の課題であった**交通利便性が大幅に向上し、生活利便性の向上**も予想されます。

しかし、便利になることにより、様々な開発、地域の安全性の低下、緑など自然環境の減少など、**地域の皆さんの生活環境が変わる可能性があります**。

そこで、地域における現況の問題点や課題、新駅設置に伴い予想される課題を整理・検討するとともに、「どのようなまちにしていけるのか」など将来の目標と方針である「**まちづくり基本計画（地区プラン）**」を策定するため、地域住民と地元関係機関による『**まちづくり協議会**』を設立しました。

協議会のメンバーを中心にして、お住まいの方の視点に立った地区プランを作成していきます。



相鉄・JR直通線が平成27年度（予定）に開通します！

- 「相鉄・JR直通線」は、相鉄本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近までの区間に連絡線を整備し、相鉄線とJR線との相互直通運転を行うものです。
- さらに、「相鉄・東急直通線」（羽沢～新横浜～日吉間）が整備されると、東急東横線等への相互直通運転が可能となります。
- これにより、横浜市西部や神奈川県央部と東京都心部とが直結され、速達性の向上、新幹線アクセスの向上のほか、JR東海道線等の混雑緩和が期待されます。

相鉄・JR直通線

区 間：西谷駅～羽沢駅
 整備延長：約2.7km
 整備予定期間：平成18年11月～27年3月

相鉄・東急直通線

区 間：羽沢駅～日吉駅
 整備延長：約10.0km
 整備予定期間：平成19年4月～31年3月



★ **新駅を中心に概ね1km（神奈川県 神奈川区・保土ケ谷区）の範囲が対象です。**

新駅予定地から概ね1km（徒歩圏）の範囲を『羽沢駅周辺地区』と設定し、神奈川区と保土ケ谷区の2区合同でまちづくりを進めます。

- 連合自治会の範囲では、
- 〔神奈川県〕
 - ・羽沢地区自治連合会
 - ・三枚地区自治連合会
 - 〔保土ケ谷区〕
 - ・川島東部連合町内会
 - ・上新地区連合自治会
 - ・上星川地区連合町内会
 - ・中央東部地区連合町内会
 - ・和田地区連合町内会
 - ・常盤台地区連合町内会
- となります。

神奈川県と保土ケ谷区それぞれの住民が協力して、まちづくりを進めます。



協議会のメンバーは、上記の連合自治会や単位町内会から推薦を受けた方や、当該地区で農業に従事されている方、横浜国立大学など、24名(神奈川区15名、保土ケ谷区9名)で構成されています。

また、鉄道事業者などにもオブザーバーとして参加いただきます。

★ **第1回まちづくり協議会を開催しました！**

日 時 : 2008年10月30日(木) 19時~21時
 会 場 : 神奈川県土木事務所 第一会議室
 テーマ : ①協議会の設立などについて
 ②ワークショップ「まちの良いところ、悪いところを見つけよう！」

★ **協議会の役員を選出しました。**

協議会の設立に合わせ、規約を定めるとともに、役員を選出しました。

会 長	羽沢地区自治連合会(神奈川区)	原 捷夫さん
副会長	常盤台地区連合町内会(保土ケ谷区)	山口 和秀さん

上記のお二方を中心に、協議会の目的である『まちづくり基本計画(地区プラン)の協議会案の作成など』に向けて、メンバー全員で取り組んでいきます。

★ 『地区プラン』って何？

- 地区の現況を把握することにより、様々な課題を整理した上で、都市計画や地区の特性をわかりやすくまとめたものです。
- 地区の中長期にわたるまちづくりの目標と方針を明らかにし、地域住民、事業者、行政が共有するものです。
- 地区プランの実現に向けて、地域住民、事業者、行政による協働のあり方をまとめた上で、実現に向けた具体的な方策をまとめたものです。



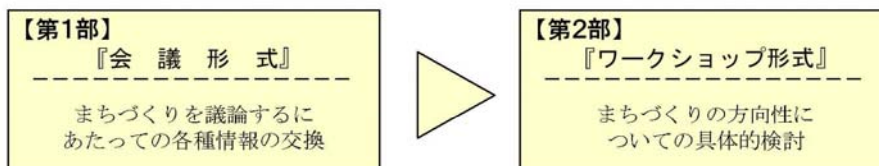
協議会では、議論・検討を進めていき、地区プランの**協議会案を作成**していきます。

★ 協議会ならびに地区プラン策定に向けた主なスケジュール



★ 協議会の進め方

まちづくりの方向性を議論するためにオブザーバー等から必要な情報の提供を受ける『会議形式』と、メンバーがまちの問題点や将来像などについて議論する『ワークショップ形式』の2部構成を基本に進めていきます。



※ ワークショップとは、「立場や経験の異なる参加者が、共同作業を通じ、お互いの考えや立場を学び合いながら、知恵や創意工夫により意見をまとめていく手法」のことで、参加者同士の情報共有や意見集約に優れた手法とされています。



ワークショップを行い、まちの現状について話し合いました！

- ① みんなが十分に意見を述べ合える人数になり、またお住まいなどが偏らないように考慮しながら、**2つのグループ**に分かれました。
- ② それぞれのグループで『**まちの良いところ、悪いところ**』などについて話し合いました。
- ③ 出された意見を下記の区分にそって、**それぞれの色のポストイット(付箋紙)**に書き込んでいきました。

良いところ

活用できるところ

悪いところ

その他

ワークショップでの主なご意見

【良いところ】

- ・緑が多く静かで、鳥も多くいるなど、環境的には恵まれている。
- ・幹線道路が整備されているので、車があれば東京、横浜などへの便は良い。

【活用できるところ】

- ・史跡が多くあり、これを大事にしていきたい。
- ・新駅ができると、都心など広範囲から学生を呼び込め、賑わいのある街になる。

【悪いところ】

- ・道路が全体的に狭く、新駅に向かう道路がない。
- ・環状2号線やJR貨物駅によって、地区が分断されている。
- ・昔は多くあった緑や里山などの自然がどんどん減っている。
- ・通勤利用者が少ないので、駅への期待は小さい。
- ・優良なキャベツ畑が多くあるが、違法建築が乱立して、営農環境が悪化するのではないか。
- ・スーパーが遠く、コンビニやお店、交番もないので、不便である。

など、多くの意見が出されました。しかし、時間が足りなかったため、第2回協議会でも引き続き同じテーマで話し合い、「まちの良いところ、悪いところ」などとしてまとめます。



Aグループの作業風景



Bグループの作業風景

みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成20年12月

【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

・ 神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
 ・ 保土ヶ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「第2回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

第2回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催しましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時やテーマなどは、以下のようになっています。

今回は、第1回で整理しきれなかった「地区の問題点」について、引き続き話し合っただき、**地区の問題点として整理**していきました。



日 時： 2008年12月3日(水) 19時～21時

会 場： 神奈川土木事務所 第一会議室

テ マ： ①ワークショップ「まちの良いところ、悪いところを見つけよう！」



ワークショップの流れ

- ① 前回と同じ**2つのグループ**に分かれ、まず始めに前回出されていた意見についておさらいをしました。
- ② 引き続き、地区の「良いところ」や「悪いところ」などについて、意見を出してもらいました。
- ③ みなさんが出した意見を**ポストイット(付箋紙)に書き込み**、模造紙に貼っていきました。
- ④ ポストイット(付箋紙)を、土地利用や道路などの項目でまとめ、**問題点を整理**しました。
- ⑤ それぞれのグループの成果をお互いに確認するため、**グループの代表者が発表**しました。



Aグループの作業風景



Bグループの作業風景



まちの問題点などについて検討しました！

2回の協議会にわたって、羽沢駅周辺地区のまちの問題点などについて話し合いました。それぞれのグループでの検討結果を整理したものが以下の図になっています。特に、道路や施設に関する意見が多く挙がり、問題点ともなっています。

また、緑地や農地が地区の魅力として挙げられています、将来的には失くなってしまおうのではないかと、という危惧する声がみられます。

Aグループ

幹線道路・ターミナル

大池道路にバスが通っているが狭い	新駅までの公共交通網が必要になる	駅には車でアクセスすることになるだろう
バス通りへの道路が不十分	新駅にバスターミナルは必要	どこからでも駅にアクセスできるようにする
車を持っていれば東京などへの便が良い	駅広がなければ利便性は上がらない	貨物駅が広くて、周りをぐるっと回らなくてはいけない

身近な道路

道路の拡張が必要	交通量が増えて子供の歩行が危険となっている	学生が安心して通れる道が必要
常盤台、釜台町からの道が狭い	道が狭いので注意するから事故は少ない	駐車違反が多い(マンション住民)

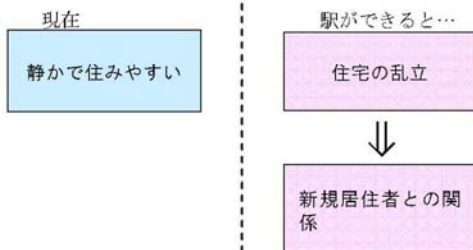
調整区域の道路

調整区域の基盤が弱い(U字溝、道路)	農地内での道路が不十分
--------------------	-------------

公益施設

留学生向けのサインが不足	新駅で人口が増えると学校問題が発生する	小中学校がバンク状態なので、そちらの方が重要	交番が遠い
--------------	---------------------	------------------------	-------

住環境



土地や文化的施設の活用

工場跡地が多くある
史跡を有効活用

エリア

開発する範囲をどの程度にするか	市街化するには500mくらいの範囲が適当	地元の人が喜ぶ計画づくりをしていきたい	上新地区に駅ができる予定であった
-----------------	----------------------	---------------------	------------------

地区の緑

保土ヶ谷の雑木林が有名
横国大は緑がいっぱいで気持ちいい
昔は緑がいっぱいあった
緑、里山がどんどん減っている
個人所有の緑は維持されにくい
緑を残すように行政もバックアップしてもらいたい
三枚町は山に囲まれていて夜は暗いから危険
不法投棄がある(三枚町)

地区の農地

農振地域で農地が守られている
農地が虫食いで減ってきている
利便性が良くなっても、営農環境としてはマイナス
後継者不足より営農環境が心配
今後の農地維持が心配
農家の優遇制度がないと続かない

東部方面線の効果

良い点
羽沢駅ができると広範囲から学生を呼び込める
利用しにくい点
西谷の駅で全ての電車が停まるわけではないので利用しづらい
西谷の乗換と本数によっては、学生のメリットが少ない
都心に用事がなければ、新駅よりも上星川を利用する
横浜に行けるわけではないので、利用者は多くない

駅周辺の魅力

日常の買物は横浜駅西口を利用する	貨物駅の土地を活用してSCができると効果がありそう
駅周りで買い物が済ませられれば良い	駅ができるのなら、高層の建物があった方が良い
ショッピングセンターができると鉄道の利用者も増える	新駅に魅力的な施設が立地しないとそちらに向かない
ららぽーとのようなSCが良い=複合(1日遊べるようなもの)	

今後の活動で

みんなでまち中を歩いてみる必要がある



良いところ

活用できるところ

悪いところ

その他

Bグループ

緑が多く住み良い

牧歌的で緑が多い、静か

環境的には恵まれている（鳥も多い）

緑が多い、自然的環境良い

まとまった農地があり、できれば失くしたくない

騒音が少なく静か、住み心地が良い

上星川よりは使いやすい

道が狭い・交通不便（バス）

道路は全体的に狭い

道路状況が悪い

駅に行く道がない

第三京浜に乗りにくい

道路が狭い、坂道多くて自転車乗れない

道路は農道が発達したようなもの

私道が多いので公道への切替を進めていかない

バス便のアクセス（駅へ）が悪い

道路の問題、アップダウンもある

道路の電柱が邪魔（貨物駅脇）

環状2号を渡れないので地区が分断されている

国道1号を通るバスが少ない（バスの便が悪い）

利便性（商店等）が悪い

不便。コンビニや店とかがない

スーパーが遠い

神奈川区役所が遠く、保土ヶ谷の方が近い

若い人が少なく、通勤が少ないので駅への期待小さい

歴史・農業等

史跡が多い大切にしたい

道祖神がある

農業やりたい人は、かなりいるはず

釜台商店街や船員病院はある

鉄道とか造るのなら、地下が良い

羽沢駅のイメージ

国大12,000人おり、2~3千人は新駅を使うだろう

片倉町駅と同じ規模で、三ツ沢上町は15,000人/日

東京に住んでいる学生は使うだろう

16,000人/日、14本/時の利用になる

学生の利用が一番多いのではないか

川和町駅のような形を望んでいるのか？

駅というと、貨物駅をイメージしてしまう（小さい駅をイメージしていない）

駅を利用しないので関心持たない人多い（東京には行かない）

駅前広場や駅のまわりのつくり方

駅前広場をどう造るか

駅のまわりの用地は確保できない。環状2号線の上とか使うしかない

駅前広場は必ずしも駅前だけでなく、人工地盤でもよいのでは

駅へのアクセスができるようなバスがあれば良い（お年寄も）

駅周辺はもっと歩ける場所があっ

デマンドバス・巡回バスで地域で暮らせれば良い（建物の更新が少ない）

駅舎の形によって、まちづくりも違うのでは

デマンドバス、タクシーとか道路・交通政策重要

駐車場（駅利用）の問題がでてくる

道路の次に、自転車利用の対応も考える必要がある

駅のところが地形的に低い

人が安全な道路が良い

環2・羽沢池辺線など大きい道路はある。小さい道をどうつなげるか

大池道路から駅につながる道路欲しい

バスが通れる道ときちんと歩ける道が整備できればよい

国大に抜ける道路欲しい（陸橋の延長）

夜も明るくして、人が通りやすくすれば良いのでは。何でもやれば良いということではない

道路とかできれば人の流れも変わる

知っている道路だと、譲る箇所などが分かるので狭くても気にならない

駅ができたらどう変わりそうか？

整備するところと守る所のメリハリをつけた方が...

第三京浜の出入口できると横浜生田線の車が増える（騒音も）

理想を言えば、区画整理が良い

スーパー、食料品店。今は車を使って鴨居まで行っている

半径1km圏外くらいの人達が困るのでは（車増える、駅使えない）

区画整理とかの手法の方が向いている

区の出張所とか交番とかを造れるチャンスになる

地形の複雑さを考えると、土地利用のイメージが持てず、道路などの人の流れだけを考えてしまう

生活インフラの要望出てくる（上下水道・LPガス）

交番とかは欲しい

東京へは早くなるけど...

新線は東京への速達性を強調していた

西谷から新横浜まで電車で45~50分かかり不便（車だと10分）

ワークショップの進め方について

市の都市計画が基本であり、土地利用の網まで手をつけられるものなのか

WSをやっているが、役所はどう考えているのか？

検討の前提条件どこに置くかを出したい

計画のあり方について

神奈川区側（羽沢）は市街化区域にしてほしい（1~2丁目）

羽沢側からは、便利なので保土ヶ谷区の方を向いて生活している

これ以上三枚町に公共の施設（道路・鉄道）を詰め込まないで欲しい

三枚町は、道路や鉄道などの公共施設で、他の地区と分断されているのでこれ以上は勘弁

調整区域なので整備は難しい

戸建住宅が多く、新たに建てる余地はない（最近住居表示が変更）

国大生も、どういふ施設が欲しいかなどのアンケートをして、まちづくりを考えている

★ 地区の問題点等のまとめ

検討結果を基に、地区の問題点等をまとめると、以下のようになります。

Aグループ

- ・新駅までバスが走れるような幹線道路が必要になる。
- ・身近な道路も狭いので、整備が必要である。
- ・調整区域の道路も併せて整備してもらいたい。
- ・保土ヶ谷や国大などに緑が多くあり、残していきたい。
- ・調整区域で違法に資材置場や倉庫が建ち、営農環境が悪化している。
- ・駅周辺に魅力を持たせるためショッピングセンターはあったほうが良い。
- ・駅ができると、まちにいろんな人が移り住んでくるので心配である。
- ・駅の良い点として、広範囲から横国大の学生が入ってこれることが挙げたが、利用しにくい点として、西谷駅にすべての電車が止まらないという話があり、乗換などに不便が生じることなどが挙げた。
- ・跡地や文化的施設を活用できると良い。
- ・これから駅周辺をどのように整備していくべきか考えていく必要がある。

Bグループ

- ・緑が多く住み良いし、まとまった農地を失くしたくない。
- ・道路環境では、狭い、バスの便が少ない、坂道が多くて自転車も乗れないなど、良くない点が多い。
- ・商店やコンビニ等がなく、利便性が悪い。
- ・農業や史跡を活かしたまちづくりができると良い。
- ・新しい駅は片倉町くらいの規模が想定できる。
- ・どこも道路を拓けるとするのは難しいので、安全に人が歩け、夜明るく安心して歩ける道路ができると良い。
- ・国大生の乗降が予想されるが、駅から大池道路に通じる道路が必要になる。
- ・駅までバスが通れる道路が必要で、駅前広場は必ずしも駅の前ではなく、多少離れても良い。
- ・全般的に整備できると良いが、そうもいかないのでメリハリをつけて整備していきたい。
- ・新線は東京へは早くなるけど、住民にとって必要なことなのか。
- ・市の考えを示してもらい、それを基にワークショップで議論したほうが良いのではないかと。



地区プランの作成に向け、ますます熱く議論していきます！

- ① 地区の問題点などを洗い出し、整理しました。
- ② 次に、これらの問題点をメンバー全員で共有するためまち歩きを行い、実際に感じるとともに、新たに問題点がないか点検します。
- ③ 問題点から抽出される地区の課題を解消していくために、どのようなまちの姿が望ましいのか、検討していきます。
- ④ これらの検討をまとめていき、地区プラン(協議会案)として作成します。

次回協議会の予定



日 時：2009年2月1日 13時～16時（雨天延期：予備日2月8日）
テ マ：まち歩き「実際にまちの中を歩いて確認してみよう！」
会 場：新駅予定地周辺 及び 横浜国立大学

みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。
普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成21年1月
【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会
【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

・神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
・保土ヶ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「第3回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

第3回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催しましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時やテーマなどは、以下のようになっています。

まち歩き当日は、強い風が吹いていましたが天候にも恵まれ、参加メンバーのみなさん全員が**アップダウンの大きな、1時間半に及ぶ行程を元気に見て回りました。**



日 時 : 2009年2月1日(日) 13時~15時30分
会 場 : 新駅予定地周辺 及び 横浜国立大学
テ マ : まち歩き「実際にまちの中を歩いて確認してみよう！」



まち歩き等の流れ

- ① 横浜国立大学の北門前に集合して、**まち歩きをスタート**しました。
(まち歩きのルートは、見開きページに掲載しています。)
- ② 前回までの「**地区の問題点等**」の議論で**挙がっていた項目**を中心に見て回りました。
- ③ 挙げられていた問題点などに該当する地点では、メジャーで道路の幅員を測ったり、感想を話し合ったりして、**羽沢駅周辺地区の実情をメンバー全員で確認**しました。
- ④ まち歩きの後には、横浜国立大学の会議室に移動し、**まち歩きで感じたこと**などを話し合いました。



まち歩きの風景



話し合いの風景



赤の点線に沿って、まち歩きを行いました！



まとまった農地が展開



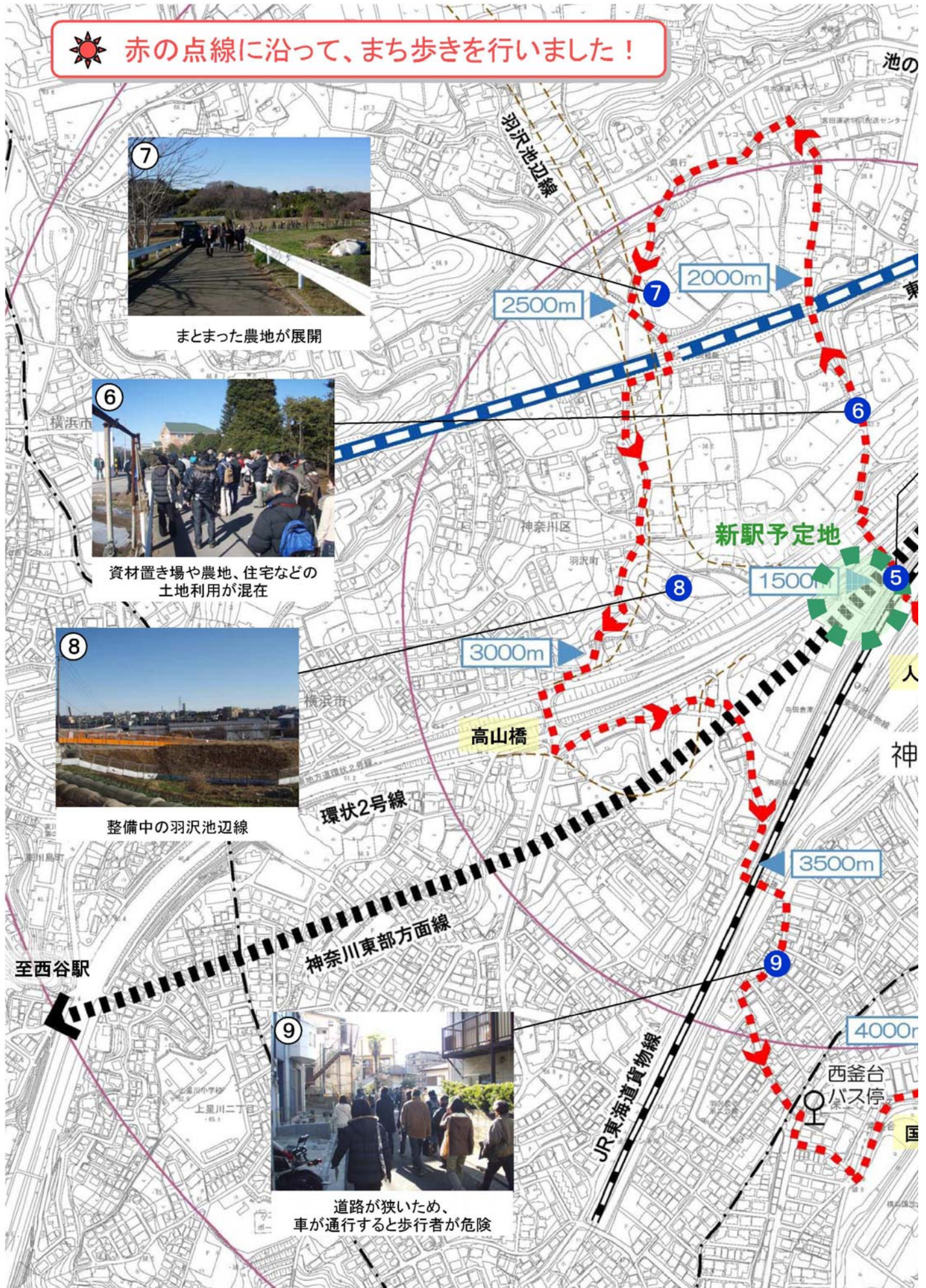
資材置き場や農地、住宅などの土地利用が混在

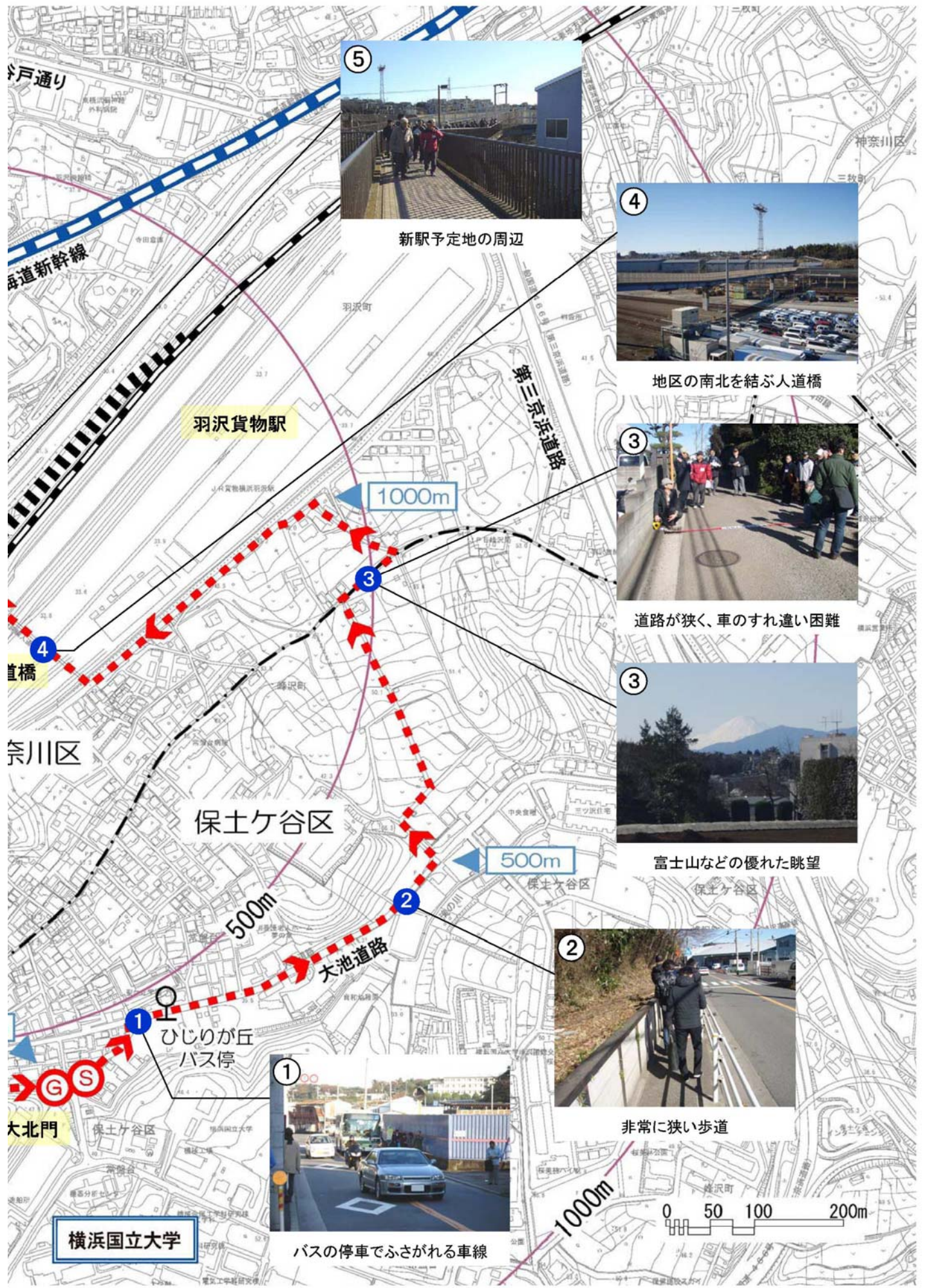


整備中の羽沢池辺線



道路が狭いため、車が通行すると歩行者が危険





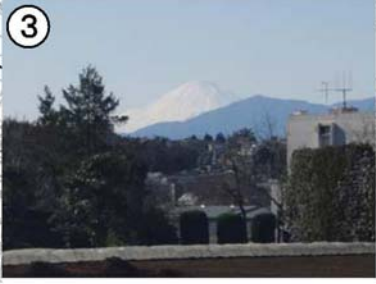
新駅予定地の周辺



地区の南北を結ぶ人道橋



道路が狭く、車のすれ違い困難



富士山などの優れた眺望



非常に狭い歩道



バスの停車でふさがれる車線

★ まち歩きで感じたこと

まち歩きを行って、メンバーのみなさんが感じたことは、以下のとおりでした。

Aグループ

【良い点】

・静かな環境で、富士山などの素晴らしい眺望も得られる。

【悪い点】

- ・今日歩いたところは道路が狭かったが、この地区はそれ以外のところも同じように道路が狭い。
- ・歩道がなく、道路も狭いなど、国大への通学路としては今のままでは不十分である。
- ・新幹線からの道路が整備され、多くの人を通るようにになると、空き缶の放置やおしゃべりによる騒音など沿道住民への影響も考えられるので、モラルやマナーの向上を広めていく必要がある。
- ・新幹線の北側では緑地が減るなどの乱開発が進んでしまっている。
- ・緑地を残していきたいと言っても、個人所有の土地を維持していくのは難しいので、今後みんなで考えていかないといけない。
- ・バスターミナルを造る土地がない。

Bグループ

【良い点】

- ・富士山が見えるなど景色がよく、空気もきれい。
- ・農地が多く残されている。
- ・優良な農地や緑を残していくなど、農地と市街地のバランスが取れたまちづくりができると良い。

【悪い点】

- ・道路が狭く、歩行者が安心して歩けないことを実感した。
- ・この地区は高低差が大きいので、まち歩きでは距離以上に長く感じた。
- ・道路や駐輪場など、新駅へのアクセスを十分に確保していかないといけない。
- ・地区が環状2号線や鉄道で分断されているので、往来できるように考えないといけない。
- ・既存のターミナルを活用して、整備していくことはできないだろうか。
- ・住民みんながまちづくりの議論に積極的に取り組むなど、住民側の意識改革が必要ではないか。



次回は「まちの将来の目標や姿」について議論します！

- ① 前回までに整理した**地区の問題点など**について、まち歩きを行って確認し、メンバー全員で共通認識を得ました。
- ② 次に、問題点から抽出される**地区の課題**を解消していくために、**どのようなまちの姿が望ましいのか**、検討していきます。
- ③ ②の望ましい**将来のまちの姿**を実現していくためにはどうすれば良いのか、検討していきます。
- ④ これらの検討をまとめていき、**地区プラン(協議会案)として作成**します。

次回協議会の予定



日 時： 2009年3月12日 18時30分～20時30分
テ ー マ： 将来のまちの目標や姿を考えよう！
会 場： 神奈川土木事務所

みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成21年2月

【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

・神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
・保土ヶ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「第4回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

第4回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催しましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時やテーマなどは、以下のようになっています。

日 時： 2009年3月12日(木) 18時30分～20時30分
 会 場： 神奈川土木事務所
 テー マ： 「将来のまちの目標や姿を考えよう！」



ワークショップの流れ

- ① これまでまちの問題点等について、3回にわたって議論してきました。その中で出された意見を整理していくと、以下のような課題がみられます。
- ② これらの課題を解消するため、どのようなまちにしていくのが良いかについて、今回は土地利用を中心に話し合いました。

これまでの意見から抽出される地区の課題

【都市的土地利用】

- ・現在の静かな住環境を保全していく必要がある。
- ・日常の利便性を高め、駅前の賑わいを創出するため、商業施設や高層の建物の立地を検討し、駅前を魅力的なものにしていく必要がある。
- ・地区の人口増加への対応や、サービス機能の充実を図るため、公共公益施設の立地を検討する必要がある。
- ・整備すべきところと、保全すべきところを検討し、まちづくりを進める必要がある。

【その他】

- ・地区の史跡や優れた眺望を活かしたまちづくりを検討していく必要がある。

【自然的土地利用】

- ・継続して営農できる環境を確保するための方策を検討する必要がある。
- ・緑豊かな地区環境の保全や、地区内の緑化、緑地管理についての方策を検討していく必要がある。

【交通環境】

- ・利便性を高めるため新駅には駅広を確保する必要があるが、その位置などについては検討していく必要がある。
- ・各方面から新駅にスムーズにアクセスできるよう道路を確保する必要がある。
- ・バス通りを安全に歩行できるようにし、また幅員の狭い生活道路は適正な幅員へ拡幅していく必要がある。



羽沢駅周辺地区の将来の土地利用について考えました！

新駅に隣接する市街化調整区域に関する意見

多様な意見があり、どのような土地利用を目指すのが良いか、今後とも議論していく必要がある

農地として残すところと、開発していくところをまず分けていくことが必要である

新駅予定地

既存住宅地に関する意見

低層の住宅地として守っていけると良い

住宅地の環境改善を図っていけると良い

羽沢池辺線(事業中)

池の谷戸通り

環状2号線

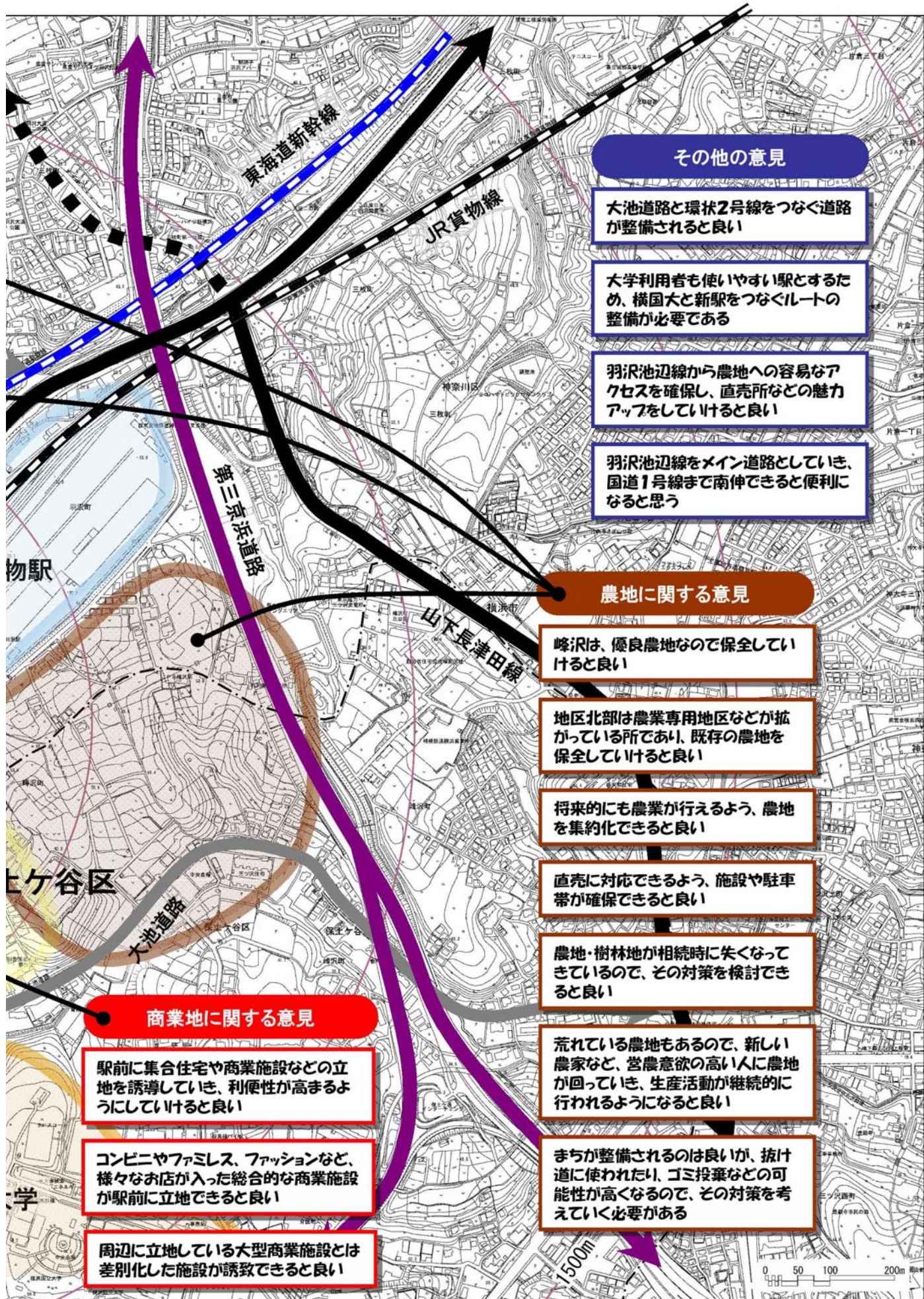
神奈川東部方面線

神奈川区

人道橋

500m

横浜国立



その他の意見

大池道路と環状2号線をつなぐ道路が整備されると良い

大学利用者も使いやすい駅とするため、横国大と新駅をつなぐルートが整備が必要である

羽沢池辺線から農地への容易なアクセスを確保し、直売所などの魅力アップをしていけると良い

羽沢池辺線をメイン道路としていき、国道1号線まで南伸できると便利になると思う

農地に関する意見

峰沢は、優良農地なので保全していけると良い

地区北部は農業専用地区などが広がっている所であり、既存の農地を保全していけると良い

将来的にも農業が行えるよう、農地を集約化できると良い

直売に対応できるよう、施設や駐車帯が確保できると良い

農地・樹林地が相続時に失くなってきているので、その対策を検討できると良い

荒れている農地もあるので、新しい農家など、営農意欲の高い人に農地が回っていき、生産活動が継続的に行われるようになると良い

まちが整備されるのは良いが、抜け道に使われたり、ゴミ投棄などの可能性が高くなるので、その対策を考えていく必要がある

商業地に関する意見

駅前に集合住宅や商業施設などの立地を誘導していき、利便性が高まるようにしていけると良い

コンビニやファミレス、ファッションなど、様々なお店が入った総合的な商業施設が駅前に立地できると良い

周辺に立地している大型商業施設とは差別化した施設が誘致できると良い

★ 話し合いの風景



Aグループの作業風景



Bグループの作業風景



次回も「まちの将来の目標や姿」について議論します！

【今後の予定】

- ① これまでの意見として出された**地区の問題点**などから導かれる**課題**を踏まえ、どのようなまちの姿が望ましいのか、主に**土地利用**について検討しました。
- ② 引き続き、道路や緑地などについて検討を行い、**望ましい将来のまちの姿**を作成していきます。
- ③ 作成した**将来のまちの姿**を実現していくためにはどうすれば良いのか、検討していきます。
- ④ これらの検討をまとめていき、平成21年度末を目標に**地区プラン(協議会案)**として作成します。

次回協議会の予定

日 時： 2009年5月20日 18時30分～20時30分

テ ー マ： まちの将来の目標や姿を考えよう！

会 場： 神奈川土木事務所



羽沢駅周辺地区まちづくりのホームページが開設されました。

協議会ニュースのバックナンバーも見られますので、是非アクセスして下さい！



みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成21年4月

【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

・神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890

・保土ケ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「第5回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

第5回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催し、前回に引き続き「将来の目標や姿」について検討しましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時やテーマなどは、以下のようになっています。

日 時： 2009年5月20日(水) 18時30分～20時30分
 会 場： 神奈川土木事務所
 テー マ： 「将来のまちの目標や姿を考えよう！」



ワークショップの流れ

- ① 前回の協議会では、主に「将来の土地利用」について議論しました。今回は**どのような規模の道路や公園を、どのように配置していくとよりよいまちにできるのかについて話し合**いました。
- ② 前回の議論も含め、羽沢駅周辺地区のまちづくりをどうしていくのが良いのか、お互いのグループでまとめた内容を発表し、**メンバー全員で考え方を共有**しました。



話し合いの風景



Aグループの作業風景



Bグループの作業風景



グループ発表の風景





羽沢駅周辺地区の将来の姿を考えました！

Aグループ

土地利用

住宅地の保全
環境改善

低層の住宅地を
守っていく

駅周辺への商業
施設の配置

商業施設の立地

新幹線周辺の農
地の利用検討

市街化と保全で
半々の意見

西側は市街化の希
望が多い

北側・南側農地
の保全

既存の農地を保全

営農意欲の高い人
に農地が回ってい
くようになると良
い

荒れている農地も
あり、新しい農家
が入って生産活動
できると良い

農地とそうでない
土地利用、双方の
意見がある
(南側農地)

道路

補助幹線道路

駅の開業に合わ
せた道路網の整備
(段階的でも)

歩道が設置され
ば自転車も、もう
少し使える

理想形をもとに、
実現可能性を検
討した計画とし
ていきたい

駅へのアクセス

駅までの交通の便
を向上させていく
ことが必要

道路を整備してい
き、地区の利便性
を高めて将来的に
にぎわうと良い

主要区画道路

安全安心なまちと
するため、適正な
間隔での道路確保
を検討

実現策の提案

道路拡幅などで、
敷地が減る分を容
積率の緩和などで
対応

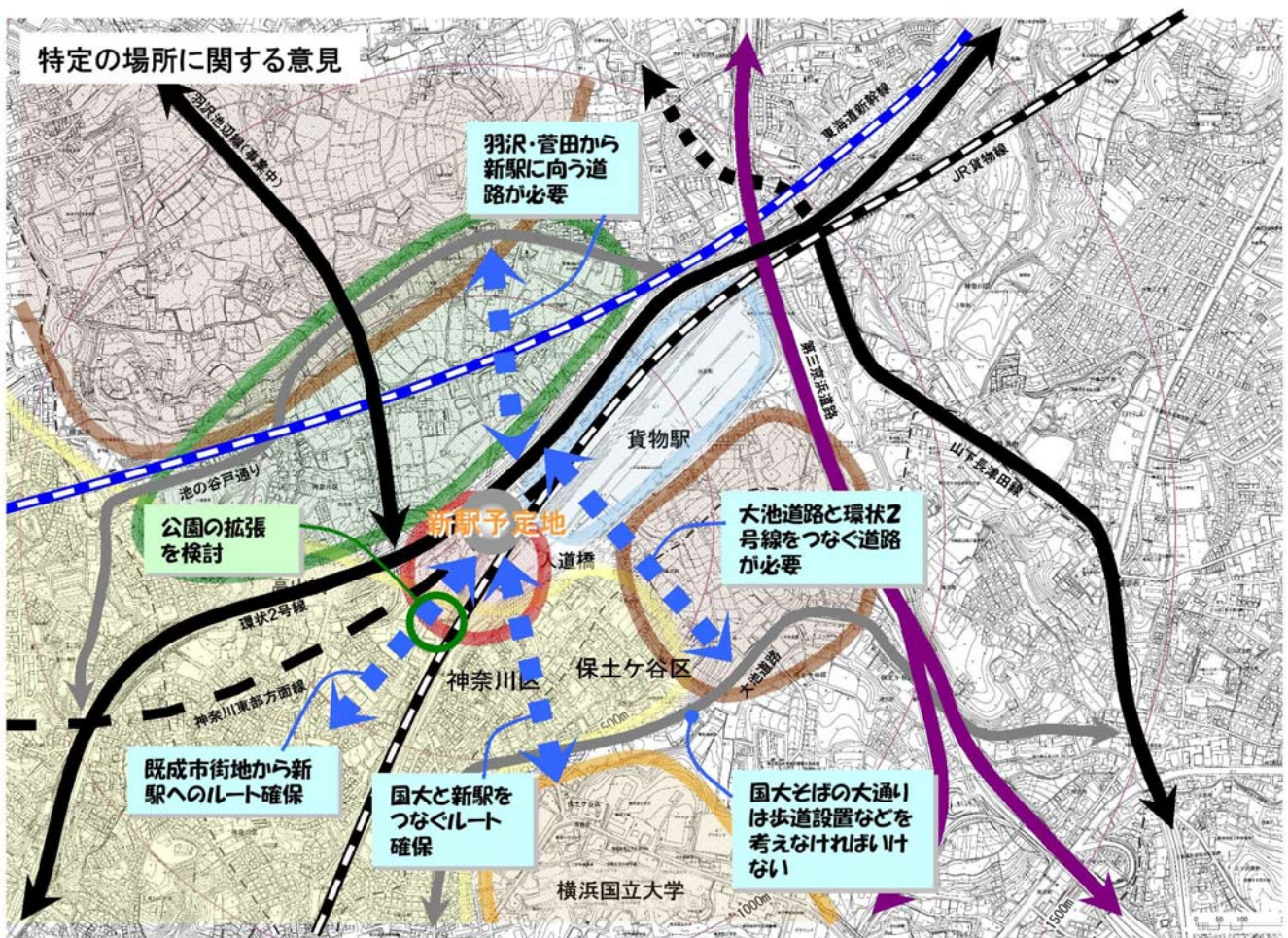
公園

子供たちが遊べる
規模の公園が必
要

遊具の設置より
規模の確保が必
要

多様な遊びができ
るように公園の造
り方を工夫

特定の場所に関する意見



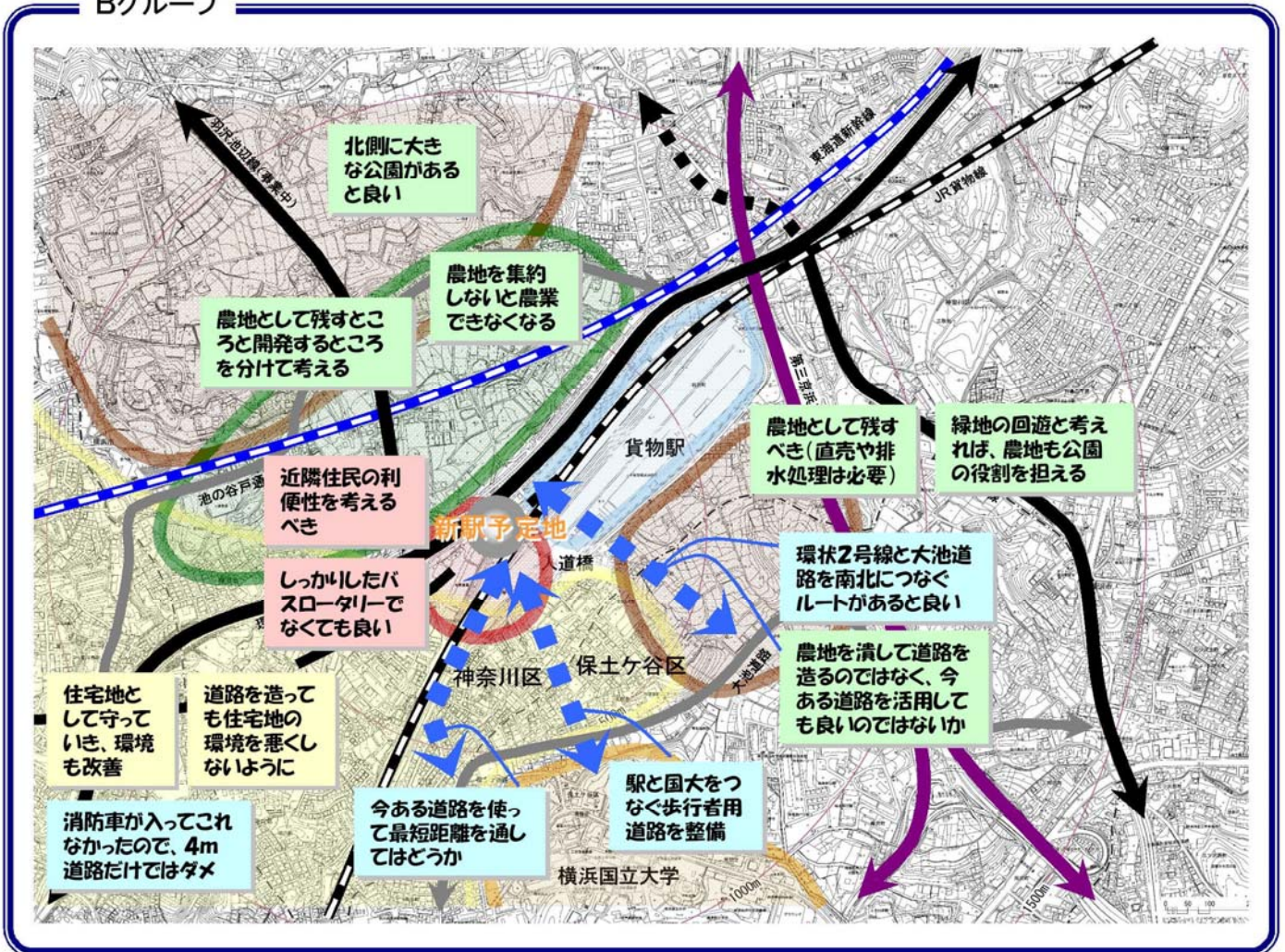
2つのグループに分かれて、『羽沢駅周辺地区のまちの姿』を検討しました。それぞれのグループで出された意見を整理して、それぞれでまとめたものをお知らせします。

なお、これらはまちづくり協議会で検討しているものであり、決定したものではありません。今後、これらの意見をもとに地区プラン(協議会案)を作成します。

意見の色区分



Bグループ



次回の検討内容

2回にわたって『まちの姿』を検討してきましたが、その中で浮かび上がってきた、次の2点について、新たに2つのグループに分かれて、テーマごとにより詳細に検討していきます。

- 既存の住宅地を守っていくため、将来的にどのようなまちなみをイメージしていくのが良いか検討していきます。
- この地区の自然と都市の望ましいバランスを住民のみなさんの視点から検討し、保全すべき自然環境や農地について考えていきます。

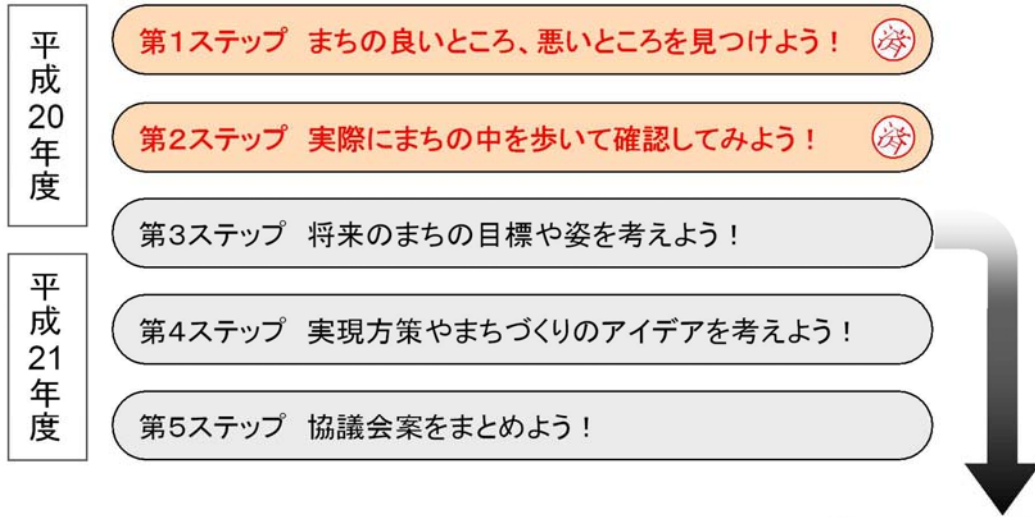




次回は「より詳細なまちの姿」について議論します！

- ① これまでの意見として出された**地区の問題点**などから導かれる課題を踏まえ、どのようなまちの姿が望ましいのかについて検討しました。
- ② **より詳細にまちの姿を検討**するため、2つのテーマに分かれて議論していきます。
- ③ 作成した**将来のまちの姿**を実現していくためにはどうすれば良いのか、検討していきます。
- ④ これらの検討をまとめていき、平成21年度末を目標に**地区プラン(協議会案)**として作成します。

【今後の予定】



次回協議会の予定

日 時： 2009年7月22日(水) 18時30分～20時30分
 テー マ： ① 既存住宅地のまちづくりについて考えよう！
 ② 地区内の自然と都市のバランスについて考えよう！
 会 場： 神奈川土木事務所



羽沢駅周辺地区まちづくりのホームページが開設されています！

神奈川区ホームページ内に『羽沢駅周辺地区まちづくり』のページを開設しています。
 保土ケ谷区ホームページからもリンクしており、協議会ニュースのバックナンバーも見られますので、是非アクセスして下さい！



みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。
 普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成21年6月
 【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会
 【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局
 ・神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
 ・保土ケ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「第6回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

第6回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催しましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時やテーマなどは、以下のようになっています。

日 時： 2009年7月22日(水) 18時30分～20時30分
 会 場： 神奈川土木事務所
 テー マ： ①「既存住宅地のまちづくりについて考えよう！」
 ②「地区内の自然と都市のバランスについて考えよう！」



ワークショップの流れ

- ① 前回までの協議会での議論を踏まえて、羽沢駅周辺地区全体における**まちづくりの大きな方向性**について確認しました。
- ② 今回は、その中でもより詳細な検討が必要な**「既存住宅地のまちづくり」と「地区の自然と都市のあり方」**について、新たに2つの班に分かれて議論しました。

1班：既存住宅地のまちづくり

- ◆既存の住宅地にお住まいの方を中心としたメンバー構成
- ◆新駅周辺のまちなみイメージや既存住宅地の環境保全、道路等のあり方について検討



1班の作業風景

2班：地区の自然と都市のあり方

- ◆農業に従事している方や、緑地・農地の周辺にお住まいの方を中心としたメンバー構成
- ◆新たな市街地の整備と、自然環境の保全についてのバランス検討



2班の作業風景



それぞれの班でのご意見としては、次のようなものがありました。

1班：既存住宅地のまちづくり

- ・新駅周辺には、ランドマークとなるような高い建物や商業施設ができて良い。
- ・新駅周辺以外の場所は、現状の低層のまちなみが良い。
- ・駅広へのアクセス道路など、メインとなる道路はきちんと整備していく必要がある。
- ・身近な道路については、現状の静穏な環境を維持するため大きな拡幅をせず、交通規制などで歩行者の安全性を確保していきたい。
- ・横浜国立大学や聖ヶ丘学園の学生が新駅から安全に通学できるように考える必要がある。

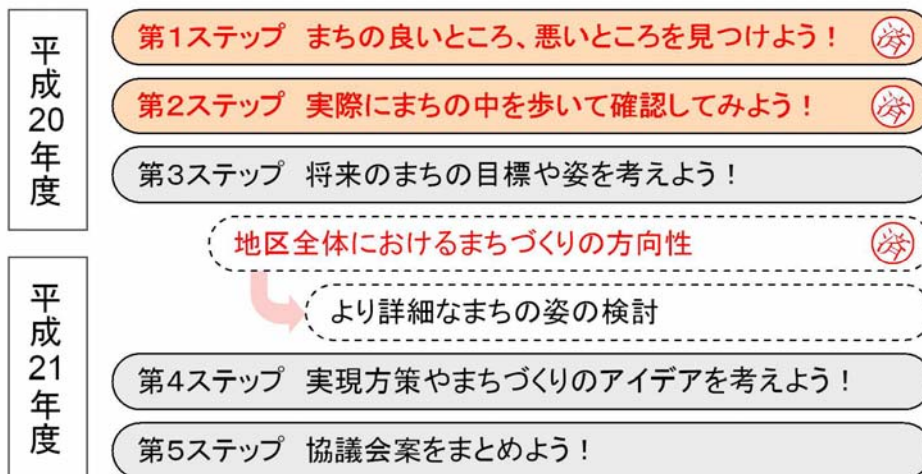
2班：地区の自然と都市のあり方

- ・調整区域のままでは、地元の住民に良い効果は生まれず、農地や緑地が駐車場や資材置き場などになってしまうだけである。
- ・本格的に農業をやるのであれば、調整区域でなければ難しい。
- ・耕作放棄地も多いようなので、みどり税で土地を購入して保全したり、農地交換などを市が実験的に行ってはどうか。**※修正点**
- ・図書館などの公共的・文化的な施設を配置して、合わせて敷地内に緑地を確保していくようにできると良い。

※検討結果については、引き続き行う次回協議会での議論とまとめてご報告します。



【今後の予定】



次回協議会の予定

日 時：2009年9月16日(水) 18時30分～20時30分

テ ー マ：① 既存住宅地のまちづくりについて考えよう！（継続）
② 地区内の自然と都市のバランスについて考えよう！（継続）

会 場：神奈川土木事務所

みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成21年8月
【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会
【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局
・神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
・保土ヶ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「第7回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

第7回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催し、「将来の目標や姿」について検討しましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時やテーマなどは、以下のようになっています。

日 時： 2009年9月16日(水) 18時30分～20時30分
 会 場： 神奈川土木事務所
 テー マ： ①「既存住宅地のまちづくりについて考えよう！」
 ②「地区内の自然と都市のバランスについて考えよう！」



ワークショップの流れ

- ① 今回は、前回に引き続き「既存住宅地のまちづくり」と「地区の自然と都市のあり方」について、2つの班に分かれて下図のエリアを対象に議論しました。
- ② これまでの協議会での意見を踏まえて、いくつかの考え方としてまちづくりの方向性を整理した中で、**どういった方向性が望ましいのか**議論しました。





羽沢駅周辺地区の将来の姿を考えました！

1班：既存住宅地のまちづくり

新駅の駅前

- ・駅周辺は価値があるので、ランドマークとなるような**高い建物**が建てても良い
- ・既存の道路網では新駅に**アクセスしづらく、利用できない**
- ・駅前には、まちの活性化や利便性向上に向けて、**商業施設の立地が望ましい**
- ・魅力的な施設立地やその事業性を成立させるためにも、**きちんとした道路整備が必要**

その他

- ・マンションには戸数分の**駐車場を確保**してもらい、路上駐車をなくす
- ・農家や農地所有者の意見を聞いて、**7ランに反映できると良い**

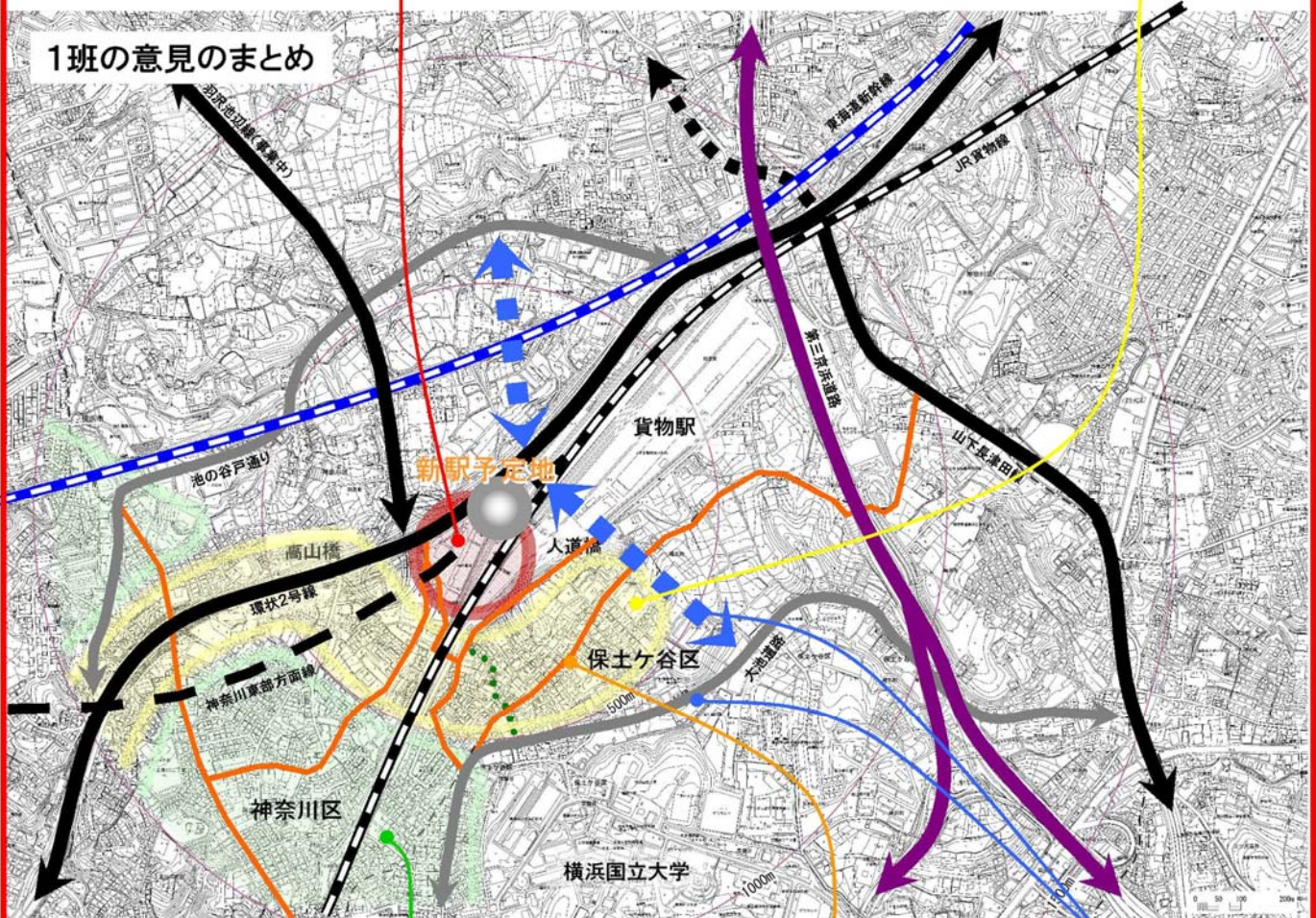


新駅周辺の市街地

- ・新駅から一定の範囲 (**300~500m**) などでは、**高い建物**が建てても良い
- ・中高層の建物が建てられ、**その空地を道路に充てていけると良い**



1班の意見のまとめ



新駅から離れた市街地

- ・中高層の建物立地を抑え、既存の**低層住宅**を中心とした街並みを保全



主要区画道路・区画道路

- ・安心安全なまちを築くためにも、**6m道路の適正な間隔での配置が必要**
- ・一方通行や通学路など**交通規制により歩行者の安全も確保**



補助幹線道路

- ・新駅への**アクセスを確保し、利用しやすい**駅にしてい
- ・住民や学生などが**安全に通行できる道路**にしてい



2つの班に分かれて、それぞれの対象としたエリアについて、**どのようなまちの姿になるのが良いのか**、検討しました。それぞれの班での意見の概要を以下にまとめました。
 今後、これらの意見をもとに地区プラン(協議会案)を作成します。

2班：地区の自然と都市のあり方

調整区域のまま新駅開業すると...

- ・農地や緑地が駐車場などに土地利用転換される可能性がある
- ・土地利用転換されて出来るものは、地元住民に有用なものではなさそう

道路の問題

- ・道路の幅員は概ね4m未満なので、道路基盤は整備したほうが良い



駅周辺の整備

- ・住民からすると緑があるほうが良い
- ・地区に不足している運動施設や文化施設を考えた方が良いのではないか
- ・開発していく場合、住民の憩いの場を分けていければ良いのでは？



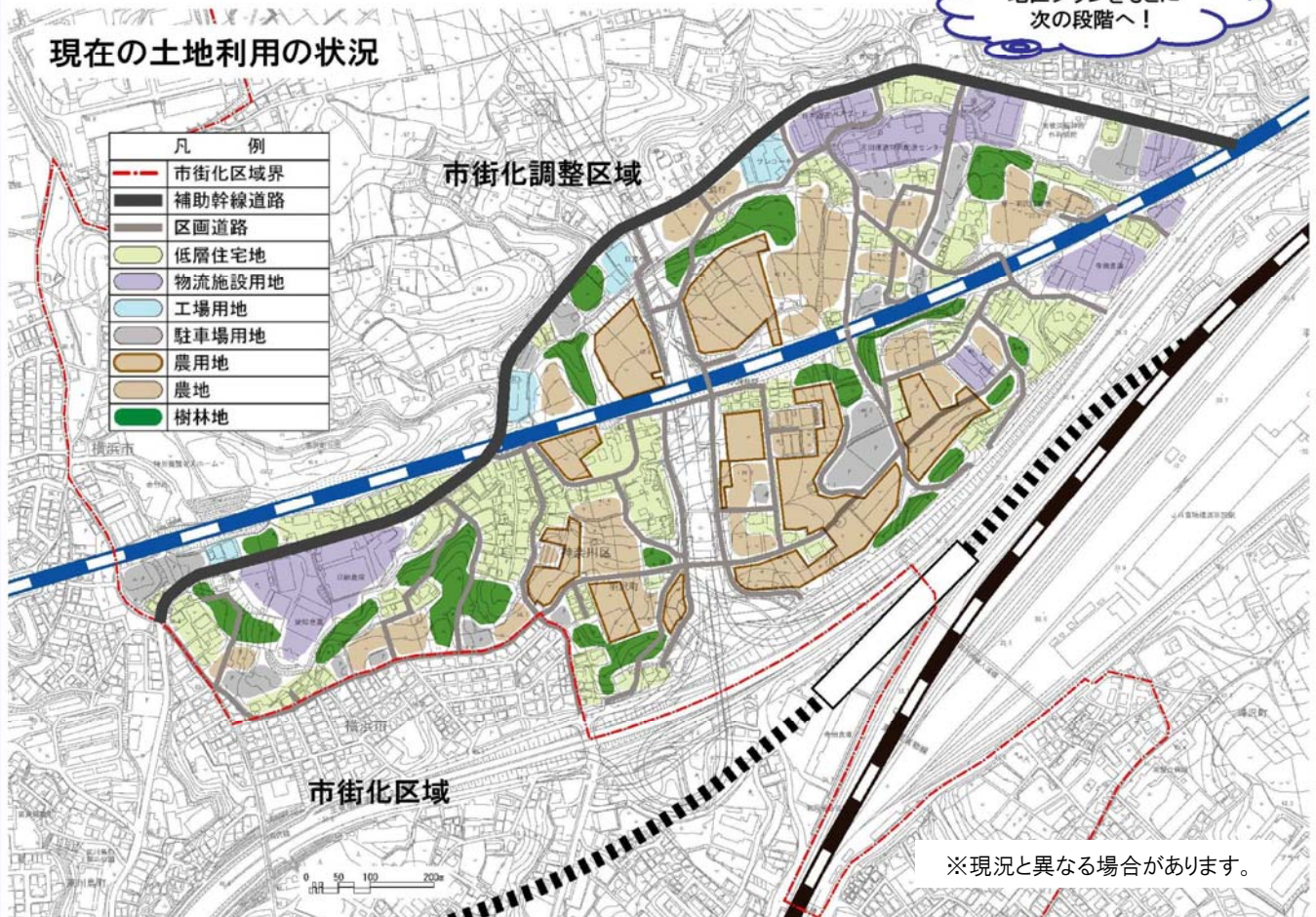
まちづくりの方向性

- ・この地区を生活拠点としている人の意見が大事
- ・地区の真ん中に農地を残していきたいという人もいる
- ・農家の人と非農家の人の考えを上手くまとめていく必要がある

地権者意向の尊重

地区プランをもとに次の段階へ！

現在の土地利用の状況



農地・緑地の問題

- ・農地や緑地を残して欲しいと言われても、税金や近隣対策など負担が大きくなっており、個人で維持していくには限界がある
- ・農用地だから貸せないだけで、駅ができたから駐車場になってしまうのでは？
- ・市街化区域になったとしたら、負担がより大きくなる
- ・本気で農業をやっていくならば調整区域のままが良い



農地の維持

- ・10年・20年先を見据えた判断をしていくべきで、農地らしきものがあれば良い、というものではない
- ・税金の問題などを行政でクリアしてもらえれば、農地の交換に応じてもらえるのではないか

横浜みどりアップ計画

- ・市長が変わってもみどりアップ計画が変更になることはないか？

農業維持の対策

- ・農地は残してもらいたいので、みどり税で保全する第1号にしては？
- ・農地を手放したい人がいるので、市が主導して農地交換の実験をしてみてもどうか
- ・農業の担い手が集められれば良い



今回は「実現方策」や「まちづくりのアイデア」を考えます！

- ① これまでの意見として出された**地区の問題点**などから**導かれる課題**を踏まえ、どのようなまちの姿が望ましいのかについて検討しました。
- ② 作成した**将来のまちの姿**を実現していくためにはどうすれば良いのか、また地元住民としてどのような取り組みができるのかについて考えていきます。
- ③ これらの検討をまとめていき、平成21年度末を目標に**地区プラン(協議会案)**として作成します。

【今後の予定】

平成
20
年度

第1ステップ まちの良いところ、悪いところを見つけよう！

第2ステップ 実際にまちの中を歩いて確認してみよう！

第3ステップ 将来のまちの目標や姿を考えよう！

平成
21
年度

第4ステップ 実現方策やまちづくりのアイデアを考えよう！

第5ステップ 協議会案をまとめよう！

次回協議会の予定

日 時： 2009年11月20日(金) 18時30分～20時30分

テ マ： 実現方策やまちづくりのアイデアを考えよう！

会 場： 神奈川土木事務所



羽沢駅周辺地区まちづくりのホームページが開設されています！

神奈川県ホームページ内に『羽沢駅周辺地区まちづくり』のページを開設しています。
保土ケ谷区ホームページからもリンクしており、協議会ニュースのバックナンバーも見られますので、是非アクセスして下さい！



みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。
普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。



【発行日】平成21年10月

【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

・ 神奈川県区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890

・ 保土ケ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース

「第8回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」を開催しました！

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を発足し、地元の住民を中心にして羽沢駅周辺地区のまちづくりを検討し始めてから、2度目のお正月を迎え、『地区プラン(協議会案)』をまとめていく段階まで進みました。

今回のニュースでは、第8回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会の内容についてご報告いたします。

当日は、ワークショップ形式で進行することで、活発で効率的な議論となりました。

日 時 : 2009年11月20日(金) 18時30分～20時30分

会 場 : 神奈川土木事務所

テ ー マ : 「まちの目標と将来像について考えよう！」

+

「地元のみなさんでできるまちづくりについて考えよう！」



★ ワークショップの流れ

- ① 前回までは2つの班に分かれて「既存住宅地のまちづくり」と「地区の自然と都市のあり方」について議論してきましたが、双方を合わせた**羽沢駅周辺地区全体の「まちの将来像」**としてまとめ、確認をしました。
- ② これまでの意見を踏まえて整理した**「まちづくりの目標」**について、引き続き議論をしました。
- ③ また、より良いまちを創り上げていくためには、地元のみなさんの協力も必要となります。そこで、**地元でどのような取り組みができるか**について話し合いました。



1班の作業風景



2班の作業風景



羽沢駅周辺地区の将来の目標を考えました！

土地利用について

これまで検討してきた内容で、まとまっているので良い

駅前が高層、離れたところを低層とするまちなみを目標にするのは、いきなりは難しいのではないかと

面的に高層化というのはなかなか難しいので、沿道だけなどいろいろな方法を取ったほうが良い

駅周辺で容積率を上げても、消化しきれず、地権者が大変になるのではないかと

商業施設の充実などは、道路整備とセットで考えていく必要がある

今は面整備していくのは難しいのではないかと

既成市街地の容積率を無理に抑える必要はないのではないかと

道路・交通について

道路を拡げるときの沿道住民への対応など、配慮が必要であり、今後の課題である

6m道路を適正に配置する、というのは一番大事だと思う

◆これまでの意見から整理した「まちづく

【土地利用に

★ 利便性を高

- 近隣住民のために施設ができると良い
- 駅前には高い建物一帯になると良い
- 駅から離れたところを中心とした良好な住

★の目標を吸い上げてまとめた「まちづくりの全体目標」

豊かな自然を身近に触れ、生活の利便性にも

★ 駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

- 新駅へのアクセスや横浜国立大学とのアクセスを確保し、利用しやすい駅にしていけると良い
- 歩道を整備していき、安全に通行できる道路にしていけると良い
- 6m道路を適正に配置し、交通面や防災面で安全安心なまちを築けると良い

【道路・交通に関すること】



地元のみなさんでできるまちづくりを考えました！

集まれる場所の確保

夜間照明などで農作物に影響を与えないよう配慮が必要であるが、多目的に利用できる広場があると良い

囲碁や麻雀などを体験できる場所があれば、頭を使う機会ができて良い

既存の住民活動の継続

新駅近隣の住民は駅開業の影響を好悪ともに受けてしまうので、自治会ぐるみで対応やフォローをしていきたい

公園への不法投棄や夜間のたまり場への監視を周辺住民と協力して行いたい

新たな

駅の間を地元の民が活用できるようにしたい

これまでの議論の中で出された意見を踏まえて「まちづくりの目標」を整理し、これを基に2つの班それぞれで議論しました。

これらの意見を受けて、改めて協議会案の「まちづくりの目標」を作成していきます。

目標

【関すること】

つつ、
らしやすいまち

、新駅の駅前に商業

も建ち、まちのランドマ

では、既存の低層を
環境を守れると良い

から、
られ、安心して暮らせるまち

★ 農地や緑地などの 自然環境と共生するまち

- 緑が豊かななど、良好な自然環境を保全していけると良い
- まとまった農地が広がっており、住民の憩いややすらぎの空間としても残せると良い
- 適正な規模を有し、多様な遊び方ができる公園を確保できると良い

【農地や緑地に関すること】

凡 例	
★	●の意見を吸い上げてまとめた「各テーマ別の目標」
●	これまでに出示されたもので、特に重要と考える意見

1班の意見

2班の意見

その他

農地の保全と、市街化のバランスある土地利用を目指す、といった表現を加えたほうが良い

それぞれのポイントを実現できたら、本当に良いまちになると思う

住んでいる人と地権者では考え方も異なるので、第三者的な意見も必要である

農地や緑地について

農家や農地を大事にしていくことが重要で、その視点を加えていきたい

農地はあったほうが良いが、隣には嫌だという人が多いので、住宅と農地の境界をきれいに造って、分けられると良い

農業を継続して営めるような仕組みづくりを考えられると良い

これからのまちづくりにおいて、より良いまちへとしていくためには、住民のみなさんの積極的な参加が欠かせません。ここでは、積極的なまちづくりへの参加のアイデアを考えました。

活動の提案

業祭
の人
やれ
い

清掃活動は自治会でやっているが、たくさんの人に参加してもらえるように「清掃イベント」ができれば良い

両区での合同で行う防災訓練、防犯活動を実施していけると良い

自治会単位や自治会同士の連携を深められると良い

両区が交流するイベントなど、区を越えて連携していけると良い

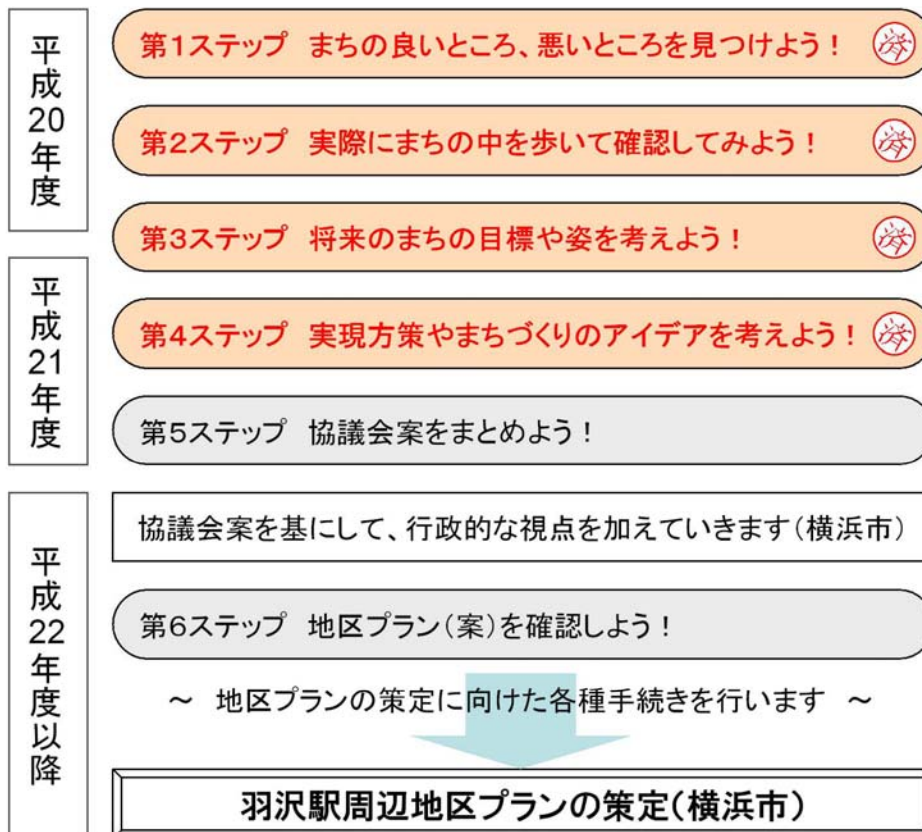
自治会間の交流や両区にまたがる連携・交流によるまちづくり活動



今回は「地区プラン(協議会案)」をまとめていきます！

- ① これまでの意見として出された**地区の問題点**などから**導かれる課題**を踏まえ、どのようなまちの姿が望ましいのか、また地元住民としてどのような取り組みができるのかについて検討してきました。
- ② これらの検討をまとめていき、次回、**地区プラン(協議会案)**として作成します。
- ③ 来年度以降は、**地区プラン(協議会案)**を基にして、横浜市が行政的な視点を加えた検討を行い、羽沢駅周辺地区プランを策定していきます。

【今後の予定】



羽沢駅周辺地区まちづくりのホームページが開設されています！

神奈川区ホームページ内に『羽沢駅周辺地区まちづくり』のページを開設しています。
保土ケ谷区ホームページからもリンクしており、協議会ニュースのバックナンバーも見られますので、是非アクセスして下さい！ なお、協議会ニュースは区役所でも配布しています。



みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。
普段感じられている羽沢駅周辺地区についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。



【発行日】平成22年1月

【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】

羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

- ・ 神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
- ・ 保土ケ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

まちづくり協議会ニュース



「羽沢駅周辺地区プラン(協議会案)」が完成しました！

第9回ならびに第10回羽沢駅周辺地区まちづくり協議会を開催し、羽沢駅周辺地区プラン(協議会案)が完成しました。平成20年10月から10回にわたり検討を重ね、まちづくり協議会の活動もひとつの区切りを迎えました。

今後は、横浜市がこの協議会案を基に、行政的な視点での検討を行い、協議会や市民の皆様意見を反映して「羽沢駅周辺地区プラン」を策定していきます。

第9回・第10回の開催日時などは、以下のとおりです。

日 時： 第9回 2010年1月19日(火) 18時30分～20時30分
 第10回 2010年3月10日(水) 18時30分～20時00分
 会 場： 神奈川土木事務所
 テー マ： 「協議会案をまとめよう！」

※協議会案の内容については『羽沢駅周辺地区プラン(協議会案) 概要版』をご覧ください。



協議会のみなさんに、これまでの活動を振り返ってもらいました。

一年半をかけて真剣に取り組んでできました。この『協議会案』をできるだけ重視してもらい、今後の横浜市での検討を進めてもらいたい。
 (神奈川区)

近くでも保土ヶ谷区と神奈川区の交流する機会がこれまでなかった。今回、近隣のことを一緒に考え、話し合うことができて非常に良かった。
 (保土ヶ谷区)

これから良くも悪くも住んでいる人が影響を受けると思いますので、地域の皆さんでも議論して、事務局に意見を寄せてもらえればと思います。
 (神奈川区)

子供から高齢者まで幅広い年齢層の人たちが住むことが、まちの元気につながるので、そのようなまちになると良いと思いました。
 (神奈川区)

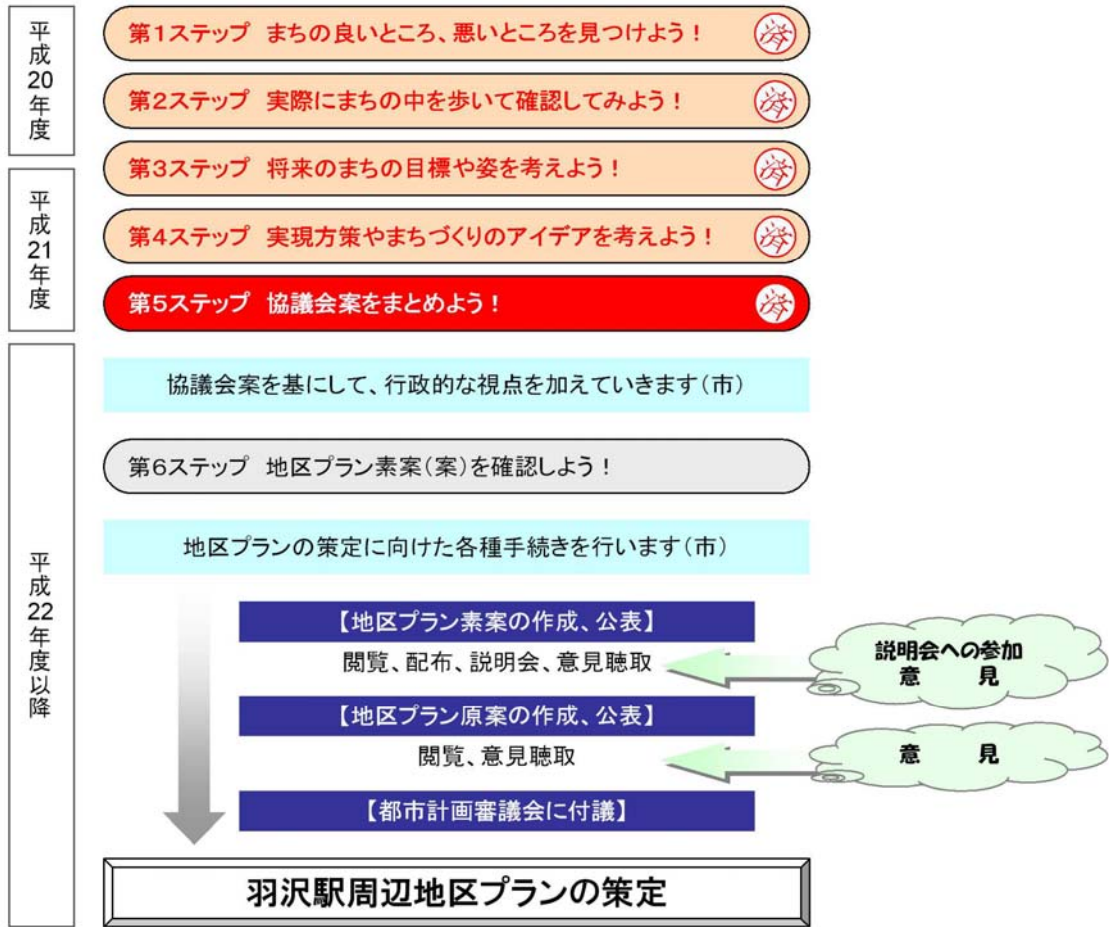
いろいろな立場の人が参加し、様々な意見を基に協議会案ができました。それに携われることができて良かった。
 (保土ヶ谷区)

新駅予定地の看板さえ立っていないので、本当に駅ができるのか、未だに半信半疑です。
 (神奈川区)

地元の駅設置についての期待は大きいです。少しでも期待している内容が実現するよう、関係する皆様のご協力をお願いします。
 (神奈川区)

協議会案ができましたが、今後は地域の皆さんでもまちづくりについて活発に意見交換する機会を持っていただけると良いと思いました。
 (保土ヶ谷区)

【地区プラン 検討スケジュール】



★ 羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）が閲覧できます！

『羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）』は区役所で閲覧でき、協議会案の概要版は配布しております。また、神奈川区ならびに保土ヶ谷区ホームページ内に『羽沢駅周辺地区まちづくり』のページを開設しています。協議会ニュースのバックナンバーとともに、協議会案もご覧いただけますので、是非アクセスして下さい！



みなさんのご意見を反映させながら、地区プランを作成したいと考えております。地区プラン（協議会案）についてのご意見を、事務局まで是非お寄せください。

【発行日】平成22年3月
 【発行】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会
 【お問い合わせ先】
 羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局
 ・神奈川区区政推進課 TEL 411-7028 FAX 314-8890
 ・保土ヶ谷区区政推進課 TEL 334-6374 FAX 333-7945

概要版

横浜市都市計画マスタープラン

羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）

平成22年3月策定 羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

【お問い合わせ先】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局

- ・ 神奈川区区政推進課 TEL 411-7028
- ・ 保土ヶ谷区区政推進課 TEL 334-6374

※表記の「羽沢駅」は仮称であり、決定したものではありません。

神奈川東部方面線の整備に伴い、羽沢貨物駅付近に旅客駅の設置が計画されています。それにより、地域の長年の課題であった交通利便性が大幅に向上し、生活利便性の向上も予想されます。

しかし、便利になることにより、様々な開発、地域の安全性の低下、緑地の減少など、地域の生活環境が変わる可能性があります。

そこで、新駅からの距離が概ね1kmの範囲を対象に、地域住民等による「羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」において検討を重ね、まちの将来像や、各テーマごとのまちづくりの方針を「羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）」（以後、「協議会案」とする。）としてまとめました。

なお、協議会案は、今後、行政によって策定される「横浜市都市計画マスタープラン－羽沢駅周辺地区プラン－」（以後、「羽沢駅周辺地区プラン」とする。）のたたき台となるものです。行政は、地域住民が中心となってまとめた協議会案を基に、「羽沢駅地区プラン」を策定します。



まちづくり の目標

緑豊かな環境の保全と都市農業の成長とともに、神奈川東部方面線の開通に伴う地区の利便性の向上と、誰もが安全安心に暮らせるまちを目指すものとして、協議会案では羽沢駅周辺地区のまちづくり目標を以下のように設定しています。

豊かな自然と身近に触れ合うことができ、 生活の利便性に優れ、安心して暮らせるまち

さらにテーマごとの目標を以下のように設定し、その方針を次ページ以降に示しています。

土地利用に関する目標

利便性の高い都市と豊かな自然がバランスよく共生するまち

農地や緑地に関する目標

営農を支援し、農地や緑地などを保全するまち

道路・交通に関する目標

駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

土地利用に関する目標： 利便性の高い都市と豊かな自然がバランスよく共生するまち

生活利便施設誘導ゾーン

- ・ランドマークとなるような建物の立地や、まちの活性化・利便性向上に向けた商業施設の立地が進められ、人々が集まってくるようなきれいなまちになると良い。
- ・新駅へのアクセス性を高め、鉄道利用者だけでなく、新駅周辺の施設利用者にとっても、利用しやすい駅になると良い。

都市型住宅ゾーン

- ・現状は低層住宅が中心であるが、新駅から一定の範囲（500m以内など）では、まちの活力となる住民の増加を図るため、中高層の住宅を建てられるようにしても良い。
- ・中高層の建物が建てられ、その空閑地を道路に充てていくなどして、より良好な住環境の形成につながるとう良い。

低層住宅ゾーン

- ・新駅から一定距離以上（500m以上など）離れたエリアでは、既存のまち並みを維持していくため、中高層の建物立地を抑え、低層住宅を中心とした静穏で良好な住環境を保全していけると良い。
- ・狭あい道路などの改善などにより、より良好な住環境を形成できると良い。

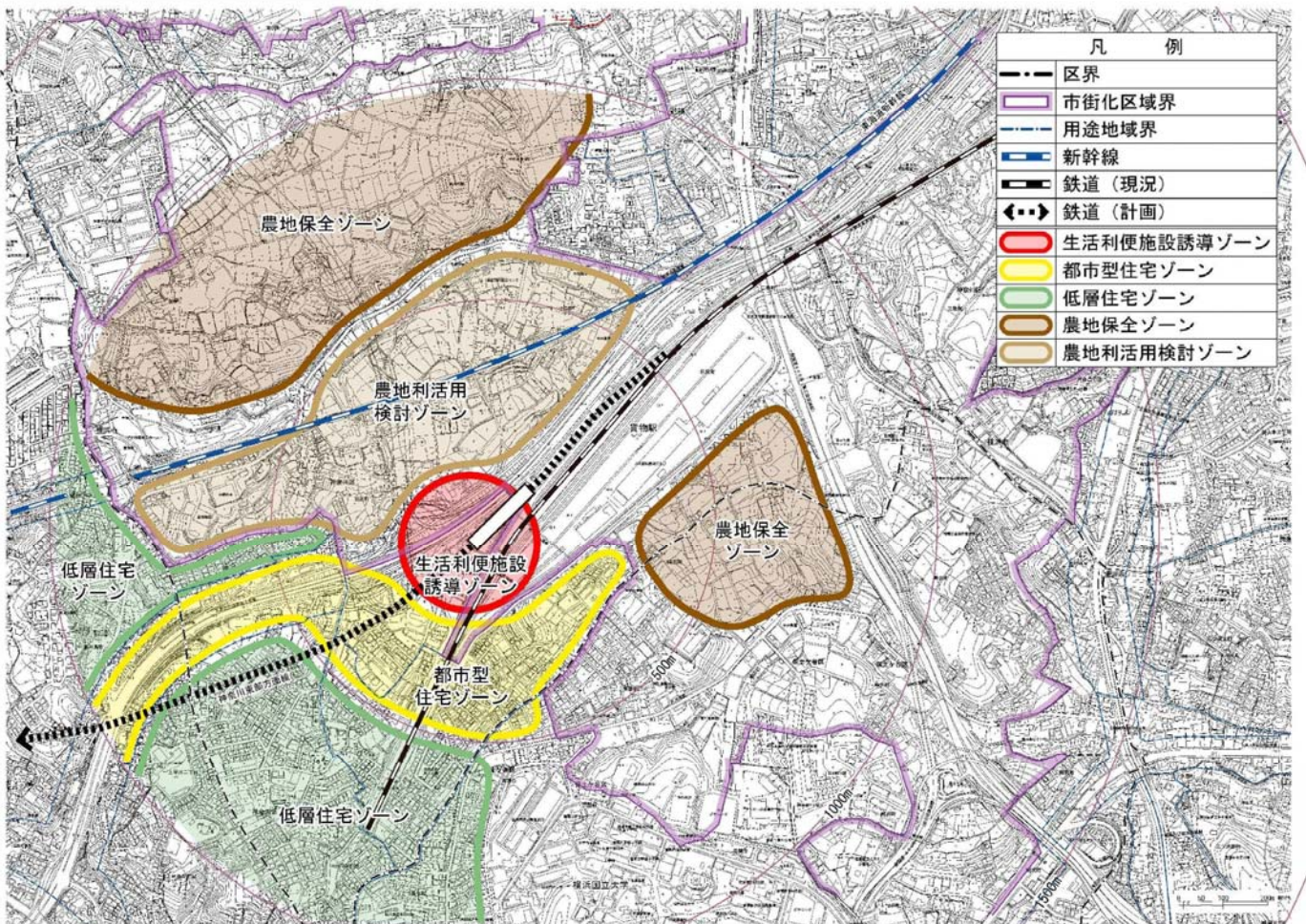
農地保全ゾーン

- ・農業専用地区や農用地区、風致地区に指定されており、まとまりのある優良な農地や豊かな緑地であることから、これらを保全していけると良い。

農地利活用検討ゾーン

- ・新駅に近いエリアなので、利便性の良さを活かした土地利用を考えられると良い。
- ・農地や緑地などは住民の憩いの場となっているので、今後も大切にしていけると良い。
- ・農家と住民が理解しあいながら、農業を継続して営めるような仕組みづくりを考えられると良い。

土地利用構想図



農地や緑地に関する目標：営農を支援し、農地や緑地などを保全するまち

農地

【農地の保全】

- ・税金や近隣対策など負担が大きくなっているため、農地を個人で維持するのは難しくなっており、地元住民や行政などが一緒になって農地を守ってあげると良い。
- ・農地を維持、保全するために、地元特産品のPRや新たな販売ルートの開拓を支援するなど、副収入に頼らず農業だけでも生活できるような対策が行えると良い。

【担い手の確保】

- ・新たな農業の担い手を集めていくとともに、営農意欲の高い人に農地が集まる仕組みや、農地の集約化による生産性の向上が図れると良い。

【宅地と農地の共生】

- ・農地と宅地との境界部に遊歩道や公園のようなものを配置し、緩衝帯を設けてあげると良い。
- ・住民の憩いや安らぎの空間としても、農地を保全してあげると良い。

緑地

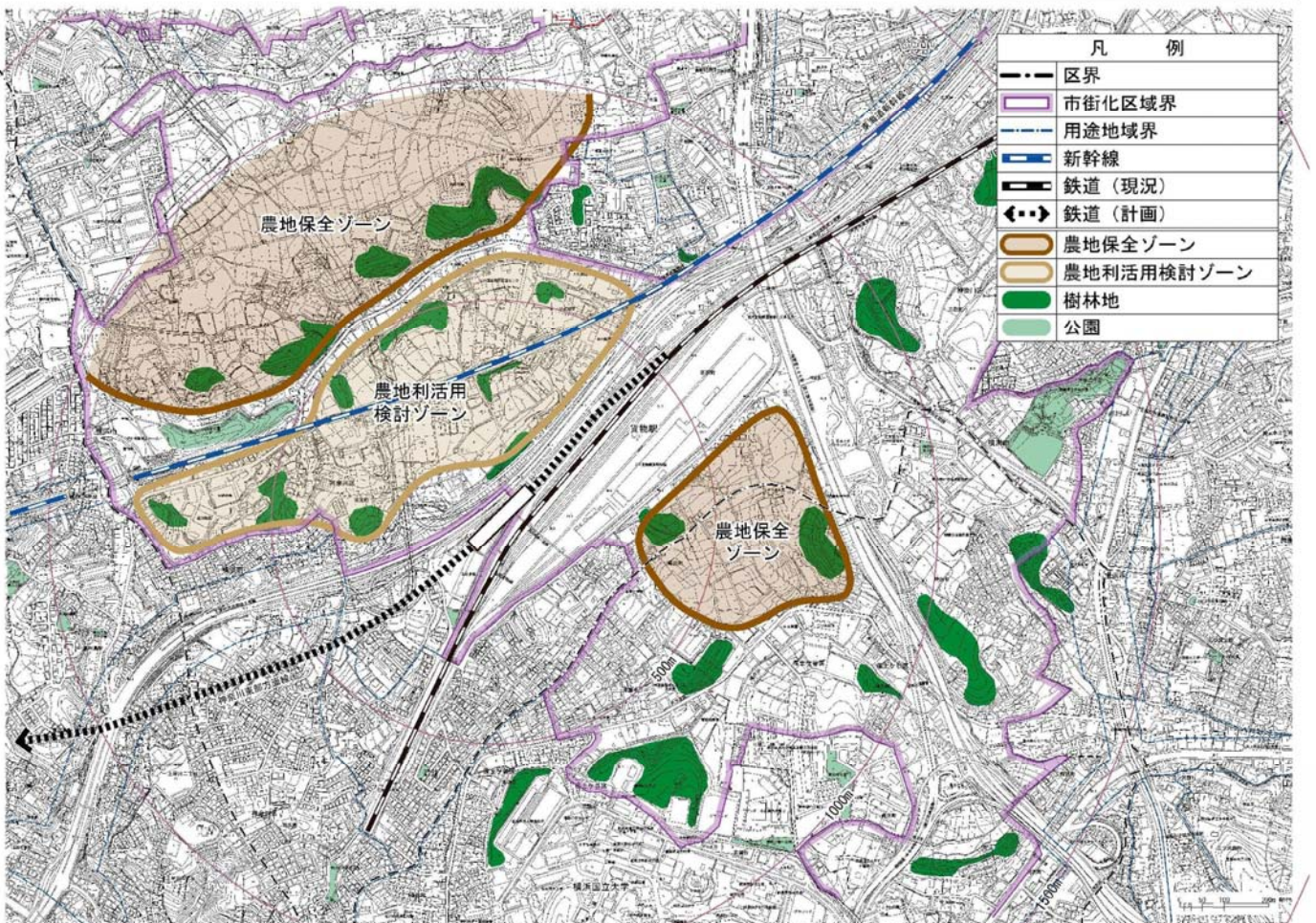
- ・緑が豊かなど、良好な自然環境を保全してあげると良い。
- ・税金や近隣対策など負担が大きくなっているため、緑地を個人で維持するのは難しくなっており、地元住民や行政などが一緒になって緑地を守ってあげると良い。

公園

- ・羽沢長谷公園の拡張や、北部の農地を保全するエリアに大きな公園の配置を検討できると良い。
- ・適正な規模を有し、多様な遊び方ができるような公園を確保してあげると良い。



農地や緑地の保全構想図



道路・交通に関する目標：駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

幹線道路

- ・環状2号線が地区を東西に横断し、地区の周囲を第三京浜道路、国道1号や国道16号が通っているほか、地区北側からのアクセスルートとして羽沢池辺線の整備が行われるなど、幹線道路ネットワークは充実している。

補助幹線道路

- ・大池道路や池の谷戸通りなどについては、バス通りでもあることから、歩道の設置を進めていき、住民や学生が安全に通行できる道路にしていけると良い。
- ・バスでの新駅アクセスを確保するため、大池道路や池の谷戸通りからのルートを確認し、利用しやすい駅にしていくとともに、環状2号線や貨物駅などによる地区の分断を解消できると良い。

サイン計画

- ・留学生などの外国人向けや、来街者向けの案内サインを設置できると良い。

主要区画道路

- ・地区内の交通を集散するとともに、緊急車両（消防車や救急車など）が円滑に通行できる安心安全なまちを築くために幅員6m以上の道路を適正に配置できると良い。
- ・補助幹線道路を補完する、既存道路を活用した新駅へのアクセスを確保していけると良い。

区画道路

- ・日常生活に身近な区画道路については、幅員4mを最低限確保していけると良い。
- ・合わせて、一方通行や通学路などのソフト施策も活用していくとともに、新駅と地区内を結ぶ歩行者動線などを検討し、歩行者のさらなる安全性を確保していけると良い。
- ・新駅と横浜国立大学をつなぐ歩行者動線を想定し、沿道住民や学生などとルールづくりを検討していけると良い。

道路・交通の整備構想図

